



Web Fairy Paradise

第61号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第53回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ 第54回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第68回 推理将棋出題
- ・ JIGSAW BOX#08(再掲)
- ・ Fairy of the Forest#36
- ・ 王手が9割(一乗谷酔象)

結果発表

- ・ 第67回 推理将棋出題
- ・ WFP5周年記念コンクール
- ・ 解くのに頭を悩ます5手協力詰作品展
- ・ 神無太郎源泉館(解くのに頭を悩ます5手協力詰作品展ウォミングアップコース)

読み物

- ・ 中立駒の紹介(変寝夢)



2013/7

はじめに



詰将棋全国大会

第29回詰将棋全国大会が7月14日(日)名古屋市の中村生涯学習センターで100名を超える参加者の中、盛大に行われました。香龍会初めスタッフの皆さんお疲れ様でした。

私はというとこのくそ暑い中、バドミントン四国総選手権愛媛県予選に参加、9月の本線への出場権を得るべく頑張ってきました。まあ何とか昨年に続き優勝することが出来てほっとしています。詰将棋全国大会を欠席した甲斐があったと・・・(そう思わなければやってられない)。昨年本戦は準決勝で破れ3位でしたので今年こそ四国50歳代チャンピオンを目指して頑張りたいと思います。それにしても暑かった。家に帰ると3kg痩せてました。(次の日には元に戻りましたけど)

全国大会の様子はネット上で読ませていただいておりますが、今回も解答競争でばか詰が出題されたみたいですね。すこしずつでもフェアリーが浸透していけば今後楽しみですね。先月から5手ばか詰をたくさん解図してきましたが、日ごろから慣れているからといって早く解けるというわけではありませんね。本当に痛感したしだい。まあ楽しむというのが大切なところだと思うので気にしない気にしない。

今月より6年目に突入します。まだまだ忙しい日が続いており新しい企画や読み物などもなかなか思うように進まないですが、いましばらくお待ちください。

新しい人にも喜んでもらえるようななにかよい企画も募集中。WFPはすぐやります！

なんだか選挙公約みたいですね。おっと明日は参議院選挙の日です。投票に行きましょう～～

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第61号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイト First Moon

<http://www.first-moon.com/>

*表紙のイラストを使用させて頂いております。

第53回WFP作品展(再掲)

第54回WFP作品展出題 担当：神無七郎

先月 WFP は5周年を迎えました。そこで今回は5という数にまつわるちょっと不思議な話を紹介します。それは「5-進数なら虚数を表せる」という話です。

ここで言う「5-進数」は一般に言う「5進法」で表された数ではありません。普通の5進法では整数部は有限桁、小数部は有限または無限桁です。ところが5-進数では小数部が有限桁で、整数部が有限または無限桁になります。

整数部と小数部の両方が有限桁の場合、5-進数は普通の5進法の数と変わりません。例えば、5-進数の12.3は10進法で表せば7.6です。

違いが出るのは整数部が無限桁の場合です。典型的な例では、

$$\dots\dots 4444444_{(5)} = -1 \quad (\dots \text{は } 4 \text{ が無限に続く})$$

が挙げられます。ここで₍₅₎の添え字は5-進数であることを表す目印です(正式な表記ではありません)。

それにしても4の無限列がマイナス1と同じというのは、どういうことでしょうか？

試しに上の式の両辺に1を足してみましょ。右辺が0になるのはすぐ分かりますね。左辺も普通の筆算と同様に計算します。まず一桁目の4に1を足すと10₍₅₎となり、一桁目は0に、二桁目には1が繰り上がります。次に繰り上がった1と二桁目にある4を足すと、またしても10₍₅₎となります。これを無限に繰り返すと、

$$\dots\dots 0000000_{(5)} = 0 \quad (\dots \text{は } 0 \text{ が無限に続く})$$

となって元の式が成り立つことが分かります。(繰り上がった1は無限の彼方へ飛んでいくので無視します。)

コンピュータに詳しい方ならここでピンと来るとと思いますが、これは「補数」の考え方と同じです。コンピュータの内部ではマイナスの記号を使う代わりに負の数を補数で表します。補数を使うと、負の数を正の数と同じように足したり、引き算を足し算で計算したりできて、とても便利なのです。(ただしコンピュータでは無限桁を扱えないので有限桁で打ち切ります。)

さて、本題に戻りましょう。5-進数で虚数を表すのでしたね。これは二乗して-1、つまり $\dots\dots 4444444_{(5)}$ となる数を探すことに他なりま

せん。そして実際に次の2つの数が、その要請を満たします。

$$\dots\dots 3032431212_{(5)}, \dots\dots 1412013233_{(5)}$$

$\dots\dots 4444444_{(5)}$ の場合と異なり、今度は…の部分には0から4の数値が不規則に現れます。これは無理数を無限小数で表したとき、各桁の数が不規則に並ぶのと似ていますね。上の数が二乗して-1になることや、この2つを足したら0になる(iと-iのペアに相当する)ことを確認してください。

今回紹介した「5-進数」は「p-進数」と呼ばれる世界の一つです。pにはいろいろな数(通常は素数)が入ります。しかしpが3の「3-進数」ではiに相当するものは表せません。逆に3-進数では-2の平方根が表せるのに、5-進数では表せなかったりします。「p-進数」はpの値ごとに独自の世界を形作っているのです。まるでルールが変わると表現できる世界が変わるフェアリーの話みたいですね。

筆者の勉強不足のため、ご案内できるのはここまでですが、物事を変った視点から見ることの大好きなフェアリー愛好家の皆さんなら、きっとこのヘンテコな「p-進数」の世界も気に入ると思います。「p-進数」について調べると数論の定理やら何やらが出てきてウンザリさせられますが、私たちの場合は真面目な研究対象とするより、この数を娯楽に使うのが良いでしょう。例えば「p-進数虫食い算」とかね。

さて今回のWFP作品展は第53回の再掲と、第54回の新規出題です。第53回は純協力詰のAコースとそれ以外のルールや推理将棋のBコースの2本立て。両コースとも解答締切は同じなので注意してください。

第54回は全11題。かなり厄介な問題も含まれるので、早めの着手を推奨します。

〔第53回作品展各題への補足説明〕(再掲)

第53回出題のAコース12題は、筆者が本作品展を担当して初めての短編協力詰特集。作者は小林看空氏と上谷直希氏のお二人です。

看空氏の作品は10題。元々は詰将棋解答選手権の松本会場で行われた「ばか詰解答選手権」用に用意されていた作品で、このときに使用されなかった問題から選ばれています。上谷氏の作品はどちらも実戦型。ただし攻方の実戦型で入玉形というのが、いかにもフェアリーらしいところです。この12題は「ばか詰解答選手権・

番外編」として、時間を計測しながら解くのも一興ですね。

Bコースは7題。見慣れないルールや難問があるので、じっくりと取り組んでください。

53B-1と**53B-2**は変寝夢さんによるPWC作品。しかし両作ともPWCだけではないフェアリー要素が付加されています。

まず**53B-1**では中将棋の「獅子」が導入されています。獅子は玉2手分の動きができる駒で、その特徴とPWCが組み合わさると何が起こるか、考えてみてください。

53B-2はPWCにKoko（本来の綴りはKōkoですが便宜上Kokoと表記します）が加わっています。初形で王手が掛かっているように見えますが、Kokoは周囲に駒がない場所への着手ができないというルールなので、56金とはできず（PWCで玉は復活しないことに注意）王手ではありません。王手を掛けるには攻方の香を玉の周辺のマスに動かす必要があるわけです。

KokoについてはWFP42号に小林看空氏の紹介記事がありますので、参考にしてください。

53B-3は橘氏お得意のキルケ作品。出題図を見るだけで大技登場の期待が膨らみます。また、**53B-4**と**53B-5**は「強欲協力白玉詰」という本邦初のルール。「強欲協力詰」が数多く作られるようになった現在でも、「強欲協力白玉詰」は発表されていませんでした。「強欲」の条件があるので白玉を詰めるのは大変ですが、だからこそ解き甲斐もあるはず。そして**53B-6**も橘氏の作品。シンプルな条件付けで、19手の比較的長手数限定を実現した推理将棋です。今月は橘氏が活躍ですね。どれも力作なのでお見逃しなく。

53B-7は一乗谷氏による長手数推理将棋。「真似将棋」で盤面ほぼ全部（79箇所！）を使えという、パズル的要素の強い条件です。条件が多数ありますが、まずは条件1)2)を満たすことを考え、後から残りの条件に合わせると良いでしょう。

〔第54回作品展各題への補足説明〕

第54回出題は変寝夢氏の作品2題、橘圭伍氏の作品8題、一乗谷酔象氏の作品1題の計11題の出題です。

54-1と**54-2**は変寝夢さんによるPWC+天竺+フェアリー駒という作品。天竺はフェアリーランドで「鏡」と呼ばれているルールと同じですが、これがPWCやフェアリー駒と合わさ

るとどうなるのでしょうか？ 作者自身が用意された例題をご覧くださいませ。

〔例題〕変寝夢氏作

PWC天竺協力白玉詰6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								夜	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒なし

【解答】

84夜 34玉 42夜 15玉 78夜 36角
まで6手
(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
								玉	五
									六
									七
									八
									九

持駒なし

初手から4手目までは天竺ルールで玉がナイトライダーの性能になり盤上を飛び回ります。PWCの効果が明らかになるのは最終手36角。これがPWCの効果を見越した一手です。このとき、攻方玉は天竺の効果で角の性能ですが「同王」とは取れません。なぜなら取られた角は69に復活し、攻方王に王手を掛けているからです。では、ナイトライダーで取るのは？ いえ、これもダメです。「同夜」とすると角は78に復活し、やはり白玉への王手となります。取れそうで取れない最終手とそれに向けて準備を整える手順が本局の狙いでした。

今回の出題ではこの例題のように、PWCと天竺の合わせ技が出てきます。フェアリー駒を

使っていることもあり、短い手数でもなかなか手ごわいかもしれません。

54-3 と **54-10** は橘圭伍氏によるキルケ協力自玉詰のシリーズ作品。星の名前による命名もシリーズ物らしく統一性がありますね。シリーズ共通の狙いは一体何なのか。それは実際に解いて確かめてください。

54-11 は一乗谷酔象氏による推理将棋。夢の「全格巡り」が条件になっています。**53B-7** と同様「真似将棋」が主題ですが、もちろん手順は異なります。

本局には手順限定のため多くの条件が付いていますが、本質的には「真似将棋で全格巡り」が主題ですので、条件の **1)~4)** さえ満たしていれば1問分正解として計上します。全条件を満たしていれば2問分計上します。

今回の作品展は全体的に難しいかもしれませんが、解答者の皆様の健闘を期待します。

解答要項

解答締切：

第 53 回：2013 年 8 月 15 日（木）

（※Aコース、Bコース共）

第 54 回：2013 年 9 月 15 日（日）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp（メールの件名に「解答」の語句を入れてください。）

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。）宛先は解答と同じ janacek789@ybb.ne.jp へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。f m 検討済みなら .fmo 形式のファイル添付を推奨します。

ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【キルケ】

駒取りがあったとき取られた駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される

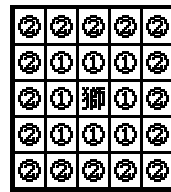
【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【獅子】（獅）

中将棋の駒で、1 手で 1 回または 2 回動ける。1 回動くときは図の①または②の位置に動く。2 回動くときは 1 手目で①の位置に、2 手目で隣接する 8 枡のいずれかに動ける。結

果的に動かなかったり、動かずに①の位置の駒を取ったり、2つの駒を取ったりすることができる。



【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。（駒位置の交換となる）

【Koko】

着手は、そのまわりの 8 マスに何らかの駒が存在するような地点のみ有効。王手にもこの条件は適用される。

【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

【推理将棋】

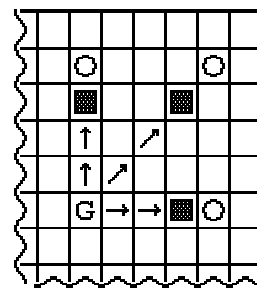
将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

【天竺】

玉（王）の利きが王手をした駒の利きになる。

【グラスホッパー】（G）

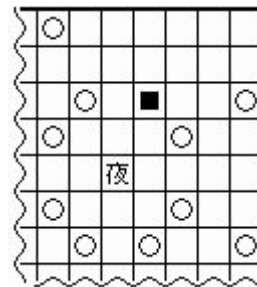
フェアリーチェスの駒。クイーンの線上で、ある駒を 1 つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



（○が G の利き）

【ナイトライダー】（夜）

フェアリーチェスのナイトライダー（夜）。ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



（○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。）

《第 53 回 WFP 作品展 A コース》
 解答締切：2013 年 8 月 15 日（木）

■ 53A-1 小林看空氏作

協力詰 3 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		角						一
		飛						二
								三
								四
				王				五
								六
								七
								八
								九

持駒 銀

■ 53A-2 小林看空氏作

協力詰 5 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
				王				六
								七
								八
			馬					九

持駒 銀

■ 53A-3 小林看空氏作

協力詰 5 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
			王					五
			香	飛				六
				角				七
								八
								九

持駒 なし

■ 53A-4 小林看空氏作

協力詰 5 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
		角						四
								五
						王		六
			金					七
								八
								九

持駒 角 銀

■ 53A-5 小林看空氏作

協力詰 5 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
						科		三
						王		四
								五
						桂		六
								七
				飛				八
				角				九

持駒 なし

■ 53A-6 小林看空氏作

協力詰 5 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
						飛		三
						と		四
								五
				王				六
						遊		七
								八
								九

持駒 なし

■ 53A-7 小林看空氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			龍					
				王	雀			
	桂		桂					
			香					
			驥					

持駒 なし

■ 53A-10 小林看空氏作

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							皇	龍
								と
						龍		
							角	王
						桂		
								馬

持駒 なし

■ 53A-8 小林看空氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		飛						
				科				角
		科	銀					
					王			
			桂		香			
							角	
				驥				

持駒 桂

■ 53A-11 上谷直希氏作

協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					科			龍
						歩	歩	
					歩	王		
						角	桂	香

持駒 なし

■ 53A-9 小林看空氏作

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				王				
								馬

持駒 桂

■ 53A-12 上谷直希氏作

協力詰 17手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						銀	歩	科
						歩	歩	歩
						歩	王	
						歩		
						驥	桂	

持駒 角

■ 53B-1 変寝夢氏作

PWC協力詰 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王										
金										
										蛾

持駒 角

※91 玉は不動

■ 53B-2 変寝夢氏作

Koko-PWC協力詰 11手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			馬							
		金	王							
										香

持駒 なし

■ 53B-3 橘圭伍氏作

キルケ協力自玉詰 12手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

馬										
										王
										銀
			角							王

持駒 なし

■ 53B-4 橘圭伍氏作

強欲協力自玉詰 16手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		馬						王		
		馬					歩			
			金							
		王								

持駒 角 香

■ 53B-5 橘圭伍氏作

強欲協力自玉詰 28手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王										
							ス			
歩	王	歩	歩	歩	歩					
				ス	ス					
歩		歩								
	歩									

攻方持駒 桂4 香4

受方持駒 なし

■ 53B-6 橘圭伍氏作

推理将棋『帰巢本能』

A 「19 手で終わった将棋はどんな将棋だったの？」

先手「僕はたった一つの駒を動かしてただけだったんだけど気付いたら勝ってたよ」

後手「18 手目に、小駒の成駒を動かしたらその駒を最終手で取られて詰まされたんだ」

A 「うーん、それだけじゃ分からないよ」

後手「僕は2 手目に 52 玉と指したよ」

A 「それでどんな将棋か分かったよ！」

さて、どのような将棋だったのでしょか？

条件

- 1) 19 手で詰んだ
- 2) 先手が着手した駒は 1 枚だけだった
- 3) 後手は 18 手目に小駒の成駒を動かし、先手は 19 手目にその駒を取った
- 4) 2 手目は 52 玉だった

■ 53B-7 一乗谷酔象氏作

推理将棋『泣く金、マネーゲーム』

- ・「マネーゲームに手を出したって。危ない奴だなあ」
- ☆『真似将棋の相手をしただけだよ』
- ・「初めのうちは、不況だから景気を様子見てから、慎重に商品(タマ)を比較した上でお金を銀行に預けていたのに」
- ☆『初手から歩香桂、玉飛角金銀の順に 8 種の駒を一回ずつ動かしたんだ』
- ・「後に不況が続いた後、景気が跳ね上がったら、今度はすぐ銀行の金を大きく動かしたね」
- ☆『後で歩香桂銀金の順に小駒を一回ずつ動かし、その直後に大駒を動かす一連の手順があっただけだよ』
- ・「連夜に金を動かしたって」
- ☆『金寄りの手は連続した 2 回だけで、他に連続して金を動かす手順はなかったよ』
- ・「空売りを 2 回やって、頭に来て金を動かしたって」
- ☆『空成りの手が 2 回あっただけだよ。2 回目空成りのすぐ後に玉頭の歩を突いてから金を動かしたけど』
- ・「箸も付けないで一人で動き続けたんだって」
- ☆『一つの駒を 8 回続けて動かした直後、端の手を指しただけだよ』
- ・「それなのに太ったんだって」
- ☆『駒取りは歩取りが 2 回あっただけだよ』
- ・「全ての物事は一歩ずつ地道に進めないと痛い目に会うよ」
- ☆『盤上にある自分の歩を全て右の筋から左の筋の方に順番に各筋 1 路ずつ前進させる一連の手順もあつたよ』
- ・「せっかく稼いだ金が泣くよ。マネーゲームから早く抜け出さないと」
- ☆『79 手で 79 箇所着手して 79 金迄。真似将棋は先手が勝ったよ』

さて、どのような将棋だったのでしょうか？

条件

- 1) 79 手で 79 箇所着手して 79 金で詰んだ。
 - 2) 駒打ちなしのマネ将棋★
※以下 3)~9)は先手側の着手条件
 - 3) 先手は、初手から歩香桂玉飛角金銀の順に 8 種の駒を 1 回ずつ動かした。
 - 4) 先手は歩香桂銀金の順に小駒を 1 回ずつ動かした直後、大駒を動かした。
 - 5) 先手の駒取りは 2 回だけで、いずれも歩を取る手
 - 6) 先手の空成りは 2 回だけで、2 回目空成りの直後に玉頭の歩を突き次に金を動かした。
 - 7) 先手の金寄りは 2 回だけで、連続した着手だった。その他には金を連続して動かすことがなかった。
 - 8) 先手は一つの駒を 8 回続けて動かした直後、端の手を指した。
 - 9) 先手は、盤上にある自分の歩を全て右の筋から左の筋の方に順番に各筋 1 路ずつ連続して前進させた。
- ★マネ将棋：後手は 2 手目以降直前の先手の指し手をマネ(55 地点を点対称に着手)し続けた。

注：問題文の修正

先月の再掲稿で、会話文の一部が修正前の文章に戻っていました。該当するのは「・」の 3 番目の台詞の「大きく」という語。これは大駒に対応しています。また、条件 9)に「連続して」を追加しました。これは会話文の「一連の手順」に対応しています。



《第54回 WFP 作品展》

解答締切：2013年9月15日(日)

■ 54-1 変寝夢氏作

PWC天竺協力白玉詰6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
								王	三
									四
		王							五
									六
									七
									八
									九

持駒 G銀

■ 54-2 変寝夢氏作

PWC天竺協力白玉詰10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

夜								王	一
									二
									三
									四
		王							五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

■ 54-3 橘圭伍氏作「Arcturus」

キルケ協力白玉詰8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	皇								一
	王								二
			飛						三
									四
									五
									六
		糸							七
									八
王									九

持駒 飛

■ 54-4 橘圭伍氏作「Procyon」

キルケ協力白玉詰10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
	銀			糸	王				六
									七
	王								八
									九

持駒 香

■ 54-5 橘圭伍氏作「Alnitak」

キルケ協力白玉詰10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
							糸		三
									四
									五
		王							六
									七
	王								八
							飛		九

持駒 なし

■ 54-6 橘圭伍氏作「Capella」

キルケ協力白玉詰10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
	王						飛		六
									七
	王								八
									九

持駒 なし

■ 54-7 橘圭伍氏作「Mizar」

キルケ協力自玉詰 20手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

馬										一
										二
										三
	王	歩			歩					四
					歩	歩	馬	金		五
				銀				香		六
		銀	歩		王					七
					桂	桂		香		八
					金	銀	入	歩		九

持駒 角

■ 54-10 橘圭伍氏作「Pleiades II」

キルケ協力自玉詰 44手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	馬									一
と		入							馬	二
										三
	王									四
										五
と	銀	歩								六
	香								馬	七
香	歩	歩	桂							八
王	香	飛	馬							九

持駒 なし

■ 54-8 橘圭伍氏作「Castor」

キルケ協力自玉詰 22手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
									馬	二
										三
					王					四
										五
と	歩	金								六
香										七
歩	王	歩								八
香		桂	金							九

持駒 なし

■ 54-11 一乗谷醉象氏作

推理将棋『81格巡り』

「全国行脚の旅もいよいよ終盤だ。ここまでの旅路を振り返ってみよう」

「長旅は最初が肝心。歩を進める前に自陣の整備から始めましたね。最初は歩以外の駒を10回動かす、そのとき着手した筋は左の方から右の方に移っていきました。一つの駒を3連続動かす手もありました」

「そうだ。歩の手は慎重に指した。先手の最初の歩の手は21手目、2回目の歩の手は29手目だった。その後、異なる7つの筋の歩を左側から右側の順に続けて1路ずつ進める一連の手順もあった」

「こんな一連の手順もありました。先手は一つの駒を3回続けて動かした直後に4回続けて一つの駒を動かす、さらにその直後、5回続けて一つの駒を動かしました」

「この将棋、駒を取る手もなく先手の不成は1回だけだった。そして、君はこれまでずっと私の指し手を真似して、あとをついてきてくれた。感謝するよ。でも、真似将棋とはこれでお別れだ。次は先手番の79手目。中央の手を指すから後手の最終着手は自力で最善手を発見してごらん」

「それでは、80手目はここに・・・」

「そうくるか。じゃあ81手目は81地点の手を指して詰んでるね。しかも81全格巡りを達成だ」

■ 54-9 橘圭伍氏作「Pleiades I」

キルケ協力自玉詰 28手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
				歩						二
		歩	王							三
歩	香	香								四
王										五
桂	桂	歩	歩		入					六
と				歩	桂					七
								歩	飛	八
		入	角							九

持駒 なし

81格巡りとはどのような将棋でしょうか？

会話を元に手順を推理してください。

条件

- 1) 81 手で 81 カ所に着手して 81 地点の手で詰んだ
- 2) 78 手目まではマネ将棋
- ※3) 以下は先手側の着手条件
- 3) 駒を取る手なし
- 4) 不成は 1 回だけ
- 5) 初手から 19 手目迄は一つの駒を 3 回続けて動かす手を含め、歩以外の駒を（自分から見て）左の筋の方から右の筋の方に着手（続けて同じ筋は可）
- 6) 歩の着手の 1 回目は 21 手目、2 回目が 29 手目。それ以降に、左の方から右の方へ異なる 7 つの筋に連続して歩を着手する一連の手順があった
- 7) 一つの駒を 3 回続けて動かし、その直後 4 回続けて一つの駒を動かした。さらにその直後、5 回続けて一つの駒を動かした。

※本問では全条件を満たさなくても、1)~4)の条件を満たせば準正解として扱います



JIGSAW BOX # 08出題（再掲）

皆様お久しぶりです。

今年は他のスケジュールとの兼ね合いもあり、余り頑張り過ぎない方が身のためという結論に達しまして、必要最低限の担当業務の範囲でやらせて頂きます。悪しからず。

解説も基本的に作者コメントと短評のコピペで済ませたいと思っているので、詳細なコメント歓迎です。

今年は 1 題だけですが超難解作ではない筈。

小峰

解答送付先：jigsawbox@gmail.com

- ・ 解答締切：7 月 28 日（日） 多少遅れ可
- ・ 結果発表：WFP 第 62 号に掲載します

ルール説明

【対面】敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入り替わる。

【取禁】手順中に駒を取る手があってはならない。「王手」や「詰み」の概念は通常通り。

08-01 神無七郎

取禁対面協力詰 83手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			馬	馬						一
		馬				馬				二
			馬							三
						王	星			四
	王									五
			王							六
										七
	王	王								八
										九

持駒 桂

推理将棋第68回出題 担当：DD++

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第68回出題です。はじめての方は
 どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。
 解答、感想はメールで2013年7月20日までにTETSUまで

(omochabako@nifty.com) メール の 題名は「推理将棋第68回解答」をお願いします。

推理将棋第68回出題 担当 DD++

今回から出題タイミングをグッと早くして、毎月締切直後に次を出題することになりました。締切前ヒントはひとまず毎月16日のままにしますが、これも1週間前くらいに早めたほうがいいのでしょうかね。解答の集まり具合等をみながら調整していこうと思います。

さて、今回の出題。初級は長編作家橋圭伍さんの貴重な短編。易しめの9手でありながら面白い手順が入る橘さんらしさも忘れない作品です。中級は担当から、ちょっと風変わりに千日手問題を。単純な手数はかなり長いのですが実質解くのはその1/3とお考えください。上級はチャンプさんから前回に続き端攻め問題、今度は歩とは限りませんよ。

練習問題

「さっきの将棋、▲76歩△72銀▲33角成△62玉▲42馬まで見てたけどどうなった？」

「駒を成る王手がもう1回あって9手で詰んだよ、って言えば残りの4手は分かるよね」

さて、残りの4手はどんな手だったでしょうか。

推理将棋68練習問題(6手目)

香	桂		金		金	銀	桂	香		
	飛	玉		馬		角				
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
		歩								
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩		
							飛			
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香		

持駒 歩

本出題

68-1 初級 橋圭伍さん作 死線！？ 9手

まずは後手が4筋着手だけで作れる詰みやそのような形を探すことから。

68-2 中級 DD++作 せわしない千日手 38手

千日手成立が39手目にならないように。() ×3で解答してもかまいません。

68-3 上級 チャンプさん作 半分は9筋の着手 12手

9筋着手数を稼ぐ方法は案外多いので思考を柔軟に。

■締め切り前ヒント (7月16日 DD++)

初級：43金で詰ませたいので43馬とかじるわけにはいきません。44歩34馬で代用。

中級：88と31に駒を打って22に成り続けますが、同一局面を作るカギは22同角「不成」。

上級：97で取った角を89に打って詰み。さてその過程で自然に取れるもう1枚の駒は？

68-1 初級 橋圭伍さん作 死線！？ 9手

A「9手で勝った将棋はどうだったの？」

先手「全て異なる地点に着手したんだけど気付いたら終わっていたよ」

後手「4筋にだけ着手してたら詰まされていたよ」

A「四線を越えられなかったんだね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・先手は全て異なる地点に着手した
- ・後手は4筋にだけ着手した

68-2 中級 DD++作

せわしない千日手 38手

「38手目、こうすると千日手で終局かな」
 「だね、ずいぶんと忙しい将棋だったよ」
 「同じ地点に駒成が12回もあったからね」
 「駒打ちが9回あった地点もあったかな」
 「そうだね、こことこの2ヶ所あるね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 38手で千日手成立
- ・ 12回駒成があった地点があった
- ・ 9回駒打ちがあった地点が2ヶ所あった

68-3 上級 チャンプさん作

半分は9筋の着手 12手

「さっきの12手で詰んだ将棋、半分の6手は9筋への着手だったって？」
 「うん、後手の人が2手続けて王手で駒を打ってたよ。」

(条件)

- ・ 12手で詰んだ
- ・ 9筋への着手が6回あった
- ・ 後手は2手続けて王手で駒を打った

■ 練習問題解答

問題以下、△77角成 ▲同桂 △54歩 ▲53角まで。

王手、しかも駒成だからといって攻方の手とは限りませんね。どちらかが指しても駒成は駒成ですし、逆王手でも王手は王手です。

手順としては6手目がかなり露骨な手。しかし推理将棋においてはかなり重要な1手です。攻方が駒を取りづらい場合やたくさん取らなければいけない場合、こうやって玉方の方から先手の駒の利きに差し出す手はかなり有効。それどころかもっと露骨に、ある攻方駒が目的地に

行く途中経由地点に差し出すことで、攻方になると0手で駒を取らせる妙手がある場合も。

このように、推理将棋は殺陣と同じで斬られ役の上手さがキモであることが多いのです。今回の上級も……？

推理将棋68練習問題詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科		帝		帝	銀	科	皇	
二		飛	銀	王		馬				
三	歩	歩	歩	歩	角	歩		歩	歩	
四					歩					
五										
六				歩						
七	歩	歩	桂	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香		銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

Fairy of the Forest #36出題

- 2013年06月20日：課題発表：(協力詰)
- 王手駒と同種の合駒
- 2013年07月15日：投稿締切
- 2013年07月20日：出題
- 2013年08月15日：解答締切
- 2013年08月20日：結果発表

■ 出題

今回も投稿は増えず、3題。しかし、内容はさすがにちょっとしたもの。特に03は必見だと思います。受方持駒制限にご注意ください。解答の方は1題でも結構です。

(解答先)
→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

■ 36-03 神無七郎 協力詰 35手 (受方持駒なし)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
					歩					四
					飛					五
				銀		王				六
						桂	入			七
				香		王	香			八
			金	香			香	金		九

持駒 飛歩

■ 36-01 小林看空 協力詰 9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				銀						一
						科	科	科		二
			入		入	王				三
										四
			歩	王		銀	銀	桂		五
			角					桂		六
										七
										八
										九

持駒 桂香

■ 36-02 神無太郎 協力詰 13手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	銀	王	角					飛	飛	一
										二
										三
										四
										五
					歩	王	歩			六
										七
										八
										九

持駒 香

【懸賞問題】王手が9割 一乗谷酔象

「推理棋神戦の決勝戦、見たかい？ 凄い熱戦だったね」
「王手王手の応酬がすさまじい将棋だった。なにしろ、着手の9割は王手だったからね」

条件

- 1) 実戦初形からはじめて、王手率が90%以上に達して詰んだ。
- 2) 同一局面なし

はたして、解はあるのだろうか？

※王手率：全着手中の王手の割合

※手順発見型、最短手数探索型の問題になります。非限定は許容します。

※王手9割以上達成された方、全員に商品（酔象駒）贈ります。

- ・推理将棋というよりは将棋パズルです。
 - ・詰将棋全国大会で話題にしたら、思いの外、食いつきがよかったですので出題します。
- 一乗谷酔象

解答〆切り：9月25日

解答は下記まで

now2good@auone.jp

[序]

課題は以下の通りでした。

1. 手数は不問。最終目的は詰みのみ
 2. 全手順中、任意の1~5手を明かす
 3. 他に条件を付加してはいけない
- 明かす事が可能な条件は以下の3つ及びその複合同とする。

①着手地点②着手駒③棋譜上の表記

推2では厳密にはこの課題に則してなかったのに気付かずに出題してしまいました。申し訳ありません。

また、推6は余詰でした。重ねてお詫び申し上げます。

推理将棋作品展に対して4名から解答を頂きました。有難うございます。担当の人望がないためか解答が伸び悩み残念ですが佳作が揃いました。

全題正解者

DD++氏 一乗谷酔象氏 神無七郎氏

2題正解者

占魚亭氏

[評点]

前から順に一乗谷氏・神無氏・DD++氏の評点になります。

推1 534

推2 課題違反の為採点除外

推3 455

推4 44-

推5 334

推6 余詰の為採点除外

採点に関しては解答者が少なかったのとおりあえず各自の採点結果のみを掲載します。解答者が少なかったのは残念ですが次回があれば課題をもう少し作りやすい物を考えて行いたいと思います。

今回の課題は、作る側から見れば楽しいと思ったのでこういう条件の形で作品が出てくれればと思います。

解説に関しては間違いがあるかもしれませんが御容赦下さい。

推1 渡辺秀行氏作

「先刻の9手で詰んだ将棋、55にも87にも着手があったよね」

[作意]

76歩 42飛 33角生 52玉 42角生 88角成
55飛 87馬 53飛成 まで9手

[解説]

55と87に着手があった9手詰です。

先手が55、87を同時に着手して詰ますのは不可能です。

後手が55、87を同時に着手したとすると、詰みに無関係な手を3手指して詰む手順があるという事になります。しかし、先手の33角成に対して対処しないといけないのでこの場合、9手で詰ます事は不可能です。

先手が87を指して詰ますのは不可能ですので先手が55、後手が87に着手した事になります。これを参考に手順を構築していけば後手は、88角成~87馬と指す位しか87への着手は行えず、また、詰まされる為に先手が55に打てる飛び道具を用意しなければなりません。飛び道具は角ではないので飛か香ですが角を残して香を渡すのは9手では無理なので必然的に飛を渡したという事になります。後は、詰むような形を見付ければ作意に辿り着く事が出来ます。

[短評]**DD++氏**

これで限定するんだもんなあ。しかし87が露骨すぎるくらいもあるので4点。

一乗谷酔象氏

たった二つの指定で限定できるとは素晴らしい。87着手が実に巧い。

神無七郎氏

簡潔な条件でよく限定できるもの。55飛が気持ち良い。

推2 渡辺秀行氏作

「先刻の9手で詰んだ将棋、17に不成の手があったよね、兄さん」

「23と61にも着手していたよ、弟よ」

[作意]

76歩 72金 33角成 61玉 23馬 44角
41馬 17角生 52金 まで9手

[解説]

17への不成は課題違反でした。
課題違反ですが解説していきます。
9手で17に不成りを行って詰ますには後手が17不成を行うしかありません。
可能な駒は、角・桂・香の3つですが桂は後手玉が動けないので不可能、香は13歩を消す必要があります手が足りません。よって、17角生のパターンしかありません。
これには後手は2手掛かります。後手が23に指す為には更に2手掛かりますので先手が61に着手した事になりますがこれは不可能。よって、先手が23に着手した事になります。これには最低3手掛かるので同時に61に着手は不可能です。つまり、61は後手の着手であり、これを指す為には2手必要。此処から後手の着手の概要は、61金を動かす、61玉、44角、17角となります。これと先手が23に指した事を見れば作意に到達できます。

[短評]

DD++氏

あれ、駒種明かさずに不成だけ明かすのってなしですよ？ ルール違反なので1点。(もしこれがルール上問題ないという判断であれば3点に変更してください)
☆ルール違反でした。申し訳ありません。

一乗谷酔象氏

17角生が入るとわかりやすい

神無七郎氏

問題文から予想しやすい手順でした

占魚亭氏

17の不成の手は角しかないと決め打ちしたら、すぐに解けました。

推3 橘圭伍氏作

「23飛成 42角 63馬迄 13手で詰んだ将棋はどんな将棋だったの？」

[作意]

76歩 62玉 33角成 72玉 43馬 44角
26歩 同角 53馬 15角 23飛成 42角
63馬 まで 13手

[解説]

自作ですが軽く解説します。
23飛成が仮に敵の飛車を取ったとすると、飛車

を取る為に最低3手、其処から飛車を打つ、23になる、63に馬を移動させるという一連の手順が必要になります。先手は7手しかないので飛車を取った後に63に馬を移動させるので32または42で取った事になります。この時、63馬は23飛車によって紐が突いています。つまり、33~53迄の歩がないという事です。この時、後手は飛車を動かす、角を42に動かす2手が必須になります。更に玉を動かす必要があり、動かしたあと逃げ道を埋める必要があるため52,62であれば2手、72であれば3手必要になります。つまり、後手が動かせる歩は最高で1枚です。此処から先手は最低1枚歩を取る必要がある事が分かります。72に玉を動かす場合、歩は動かさない事も考慮してこの展開を読むと不可能である事が判明し、23飛成は28の飛車が成った物であり、後手は2筋の歩を取った事が分かります。
後は、先手が23飛成で63の馬に紐を付けながら詰ます手順を探せば解けます。

[短評]

DD++氏

42角を見て52玉型だと思えば43歩53歩が邪魔になって龍と馬が連携しないんですよこれ。なんにせよ角の大回転が美しいです。

一乗谷酔象氏

角の軌跡が巧妙。

神無七郎氏

三を聞いて十三を知る。
手順の一部だけ指定して長手順を限定する形式の出題は面白いと思います。条件の付け方だけでなく、後手の角の軌跡の美しさにも感心させられます。

推4 DD++氏作

「眠れぬ獅子」

「――まで、第五期迷人戦は12手で迷人が挑戦者玉を詰ませて迷人位を防衛しました。この将棋を振り返ってどうでしょうか先生」
「興味深い手がたくさんありましたね。この44の手、この44の手、あとはこの44の手やこの44の手も研究してみたい手です」
「その中でも勝敗を分けた1手はどれになるのでしょうか」

「それはこの4手のどれでもなく、11手目の『44角成』ではないでしょうか。これで急に先手大変になりましたね」

[作意]

76歩 44歩 同角 42飛 53角生 47飛生
44歩 同飛生 48金 同飛生 44角成 49金
まで 12手

[解説]

44の手が合計5回、内1回が44角成という非常に美しい条件の作品です。これをどのように無し遂げるかが問題になります。

11手目が44角成という事はその前に角は44に移動可能な位置にいた事になります。そして、10手目及び12手目は44の着手ではないという事も同時に判明します。9手中4手が44への着手となり、この高密度の44への着手をどのように行うかが鍵になります。

44に着手する為には初形の43歩を動かす以外には必ず2手必要になります。つまり、先手・後手が3回着手する事は有り得ないという事で先手・後手が2手ずつ行ったという事になります。後手が43歩を突かないとした場合、44に着手する為の手を4回行う事になり、詰ます為の手順は12手目の1手しかありません。これは相当厳しいです。なので、後手44歩と突いて42飛と展開した事が濃厚という事です。76歩・44歩・同角・42飛から後は12手で44に2回着手しつつ詰ます手順を探せばよいという事になります。

[短評]

DD++氏

同一地点に5回着手する順のなかで今回の制約で一番スムーズに限定するものを選んでみました。最初の5手までは必然なので推3より簡単じゃないかと思いますが、そうでもないのかなあ。(自作なので採点除外)

一乗谷酔象氏

条件は『12手で詰み。5回目の44の手は11手目の角成』 44づくしで4点。

神無七郎氏

44歩～42飛は第一感でしたが、先手陣に入り込んだ飛をすぐに引き上げる手順が盲点で、解図にもっとも時間が掛かりました。

推5 渡辺秀行氏作

「さっき、僕が見た着手は初手の68の着手と89の着手だったよ」

「89の着手は何手目だったけ？それにしても10手で詰んだというのに同桂の着手が出るとは驚きだ」

[作意]

68玉 34歩 76歩 88角生 78玉 99角成
68飛 77香 同桂 89角 まで10手

[解説]

色々考え方があるとは思いますが今回は同桂に注目したいと思います。

同桂という着手が後手とした場合、最短で6手掛かります。打った駒で同桂という展開は不可能なので初形にあった駒で行った事になります。初手が68という事は後手が取った駒は歩しかないので、残り4手で詰ます事は不可能です。つまり、先手が同桂と取ったという事です。

同桂で取った駒が盤上の駒の場合、初形の22角以外には考えにくいです。その場合単騎で詰ます必要があるのですが玉の移動可能範囲は4段目までなのでほぼ不可能となります。つまり、打たれた駒を同桂と取ったという可能性が高いという事になります。

打たれた場合、後手は2枚駒を取った事になります。打つ為と詰ます為の駒は歩以外のものなので駒取り2回、駒打ち2回、34歩が後手の手の全てだという事になります。

初手が68という事から68玉34歩76歩以下で89に着手しつつ詰む手順を探索すればよいという事になります。

[短評]

一乗谷酔象氏

77香打とは考えにくかった

DD++氏

同桂と89着手を明かすなら同桂が89を開ける手ではないミスディレクションが好ましかった。4手目の不成自然限定など手順が面白くシンプルでもあるだけに余計にそこが残念。

神無七郎氏

「初手68」の指定が大きなヒント。凝ったことを考えなければ易しい作？

推 6 DD++氏作

「或る数学者と推理将棋」

「 $32+45+51+76=9$ 、と」

「なんだいそれは。通常の自然数体上の演算ではなさそうだが」

「ええ、まあ特殊な数式ですから」

「その加法はアーベル群なのかい？」

「あ、あーべるぐん……なんですか、それ」

「わからないか。では、その加法は可換かという問いなら理解できるか？」

「順番を変えてもいいかということですか？それは問題ありませんが……」

「ふむ、そうか。なるほど仮にこれが剰余群だとすればその位数は195の約数のいずれか……いや、76が存在するから195そのものか。

$195=3 \times 5 \times 13$ であるからして $\mathbb{Z}/195\mathbb{Z}$ の性質は……ブツブツ——」

(32の手と45の手と51の手と76の手があって9手で詰んだっていうただの推理将棋の問題なんだけどなあ)

【作意】

76歩 42玉 33角生 32玉 51角成 44歩

61馬 45歩 43金 まで9手

【余詰】

76歩 32飛 33角成 52玉 32馬 62銀 45飛

51金左 43飛成 まで9手

【解説】

DD++氏より、「すみませんでした。粗検お詫びいたします。ただ余詰修正するのは容易でしょうが、どうしても作った意味を失うので修正はせずに不完全なまま打ち捨てる方向でお願いします。」というコメントを頂いたので省略します。粗検討陳謝します。

作意解答者の短評を載せておきます。

敢えて解説を付けるなら素晴らしい問題文を見た時は感心しました。

DD++氏

当初の制約かつ露骨に無駄な地点なしでどこまで出来るかやってみました。この4地点の組を見つけるのに3日、余詰検討にさらに3日かかりました。45歩45桂の他45角や45香までないことまで確認して完璧だと思っていたのに、なんで45飛を忘れていたんだろう……。 (自作なので採点除外)

☆担当も検討したのですが、45飛は読んだのですが飛車を32以外で取る展開だけ確認して

いました。問題分を読んで32が一回しかなかったという思い込みをしていました。申し訳ありませんでした。

神無七郎氏

「45」の指定が巧妙。王手を掛けられに行く2手目も指しにくい手でした。

金を打つ平凡な詰上りが輝いて見えます

【総評】

DD++氏

作者名伏せてますけどバレバレですよこれ。作者の個性が出やすいというのは普通はいいところとすべきなのでしょうが、匿名でやるには向いてないなあ実感。

☆自作と一部の作者を知っているとそうなるかもしれませんが知らないと意外にそうでもないようです。

一乗谷酔象氏

※作者当て。下記のように推測いたします。

渡辺さんが1と3

DD++さんが4、5、6

橘さんが2

☆半分だけ正解でした。

神無七郎氏

WFP 作品展のお休みを利用して久々に推理将棋を解いてみました。解答した作品に点数を付けたのも久しぶりな気がします。

一番苦戦したのは推4。お気に入りは推3です

占魚亭氏

もう少し解ければよかったのですが……。

解くのに頭を悩ます5手協力詰作品展

結果発表！！

5周年記念解くのに頭を悩ます5手協力詰作品展の結果発表です。解答者はA部門9名、B部門8名とたくさん解答を頂きました。ありがとうございました。ぽこさん初解答ありがとうございました。

解答者（敬称略）

小林看空、橋本孝治、DD++、変寝夢、ぽこ、もず、占魚亭、橋圭伍、たくぼん

通常の作品展では作品の方に目が行く所ですが、今回は解答者の方にスポットを当ててみました。短評や解図時間記載でどのように解いて行ったかが垣間見れます。ぜひ解図の際の参考にしてみて下さい。

それではA部門より発表します。
A部門は、無駄駒、花駒なしです。

順位	No.	作者	解答数	平均解図時間
1	A-7	変寝夢	8	14分11秒
2	A-5	DD++	8	11分48秒
3	A-2	神無太郎	9	10分24秒
4	A-1	小林看空	8	10分22秒
5	A-8	若林	9	9分06秒
6	A-4	DD++	8	7分32秒
7	A-9	たくぼん	8	5分41秒
8	A-3	神無太郎	9	1分06秒
9	A-6	変寝夢	8	1分05秒

解図時間30分以上、無解、誤解は30分換算しています。平均時間は秒未満切捨て

今回最も解図時間がかかった作品は、A-7の変寝夢氏の作品でした。DD++氏の誤解はありましたが、それが無くても平均解図時間はトップですので文句なしです。

2位から4位までは微差の争いでした。

各作品にはf m解析数を記載しておきました。トップのA-7の解析数は12558でそんなに多いわけではありませので解きにくさとの関係はそんなに大きいわけではなさそうです。

【A部門】

A-1 小林看空作 協力詰 5手
解析数：39850

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一									皇	
二								飛		
三						桂	桂	飛		
四					桂	王				
五					飛					
六										
七									馬	
八										
九										

持駒 角

45馬 同桂 24飛生 33玉 42角 迄

作者

この初手を実現してみたかったのです。手ごたえはどうなのでしょう？ 54桂を余詰防止駒とってくれると助かるのですが。(54歩の配置ならば簡単) まあ、当然(?)の不成も入り、作者としては満足至極です。

★ 歩でよい所を馬を捨てる。よくこの駒数で余詰を抑えられたものと思います。作品として素晴らしい内容。

たくぼん

33秒

橋本孝治

これは以前見せてもらったことがあります。そのときは相当時間が掛かったはずですが、歩でも同じなのに馬だから悩むというのは、例の古典作品と同じですね。この作品がA部門で(今回の催し全体でも)一番のお気に入りです。1分28秒

DD++

いかにも合駒制限風に配置した桂だが、しばらく考えてみるに5枚目の桂を合駒しても詰みそうにない。ならば54の駒が桂であって42を押さええていることには何か積極的な意味があるのだと気がついて数十秒後に解決。8分59秒

変寝夢

初手のだいぶが盲点。2分

ぼこ

無回答 2時間

もず

持駒の角に気づかず考え込むこと 1分ほど。
こういうことはよくあります。24 飛生としたい形ということは気づいた後ならわかりますが、なかなか見えにくい詰め上がりだと思います。6分

占魚亭

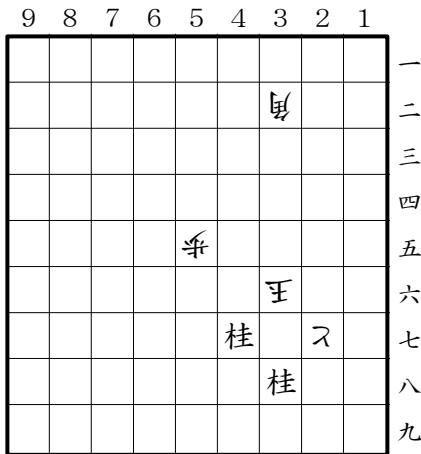
角打ちから考えました。4分

橘圭伍

30分以内に見えなかったので FM 先生に聞きました。下に完全に盲点でした… 30分

A-2 神無太郎作 協力詰 5手

解析数：131001



持駒 飛角

14 角 45 玉 25 飛 36 玉 35 飛 迄

★ 私なんかはつつい 33 の空間に目が行ってしまいました。飛と角で両王手は定番でしたね。

たくぼん

1分3秒

小林看空

こっちでバッテリーをつくるのか。。10分

橋本孝治

一番やりたい手順をやれば詰む素直な作でした。初形から両王手になるよう2枚の駒を配置する0手詰作品。22秒

DD++

2分で「54 角、同角、25 角、45 玉、46 飛」

と書いてふと思う。何かおかしい。あ、角が多い、と気づいて考え直す。頭から煙が出そうになったあたりでやっと「14 角、26 玉、25 飛、36 玉、35 飛」か！ でもやっぱり何かおかしい（この時点で46分）。一度問題順を飛ばしてから45玉でいいことに気づくまでに一晩越しました。30分以上

変寝夢

狭い方から打つのがポイントか。20分

ぼこ

4分18秒

もず

解けてみればこれ以外ない手順ですが、守備駒がそれほど強いわけでもないのに両王手で詰むのは意外でした。16分

占魚亭

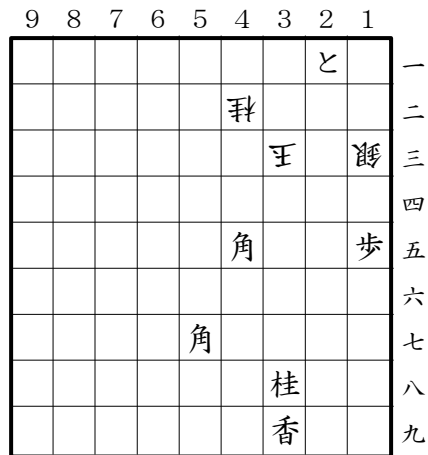
分かっただけならば簡単な詰上り形ですが、閃くまでに少し時間がかかりました。7分

橘圭伍

16 飛、33 飛、14 角と読んだ結果が5分。掛かり過ぎな予感です。5分

A-3 神無太郎作 協力詰 5手

解析数：18776



持駒 なし

46 桂 24 玉 34 桂 23 玉 22 桂成 迄

★ちよつとこの催し物では損をした感じですが、作品は面白い。桂の3段跳ねが光っています。

たくぼん

17秒

小林看空

これは、みえみえでやさしい。1分

橋本孝治

桂の3段跳。こちら期待の手順が素直に出てきます。こういう催しでは損ですが、面白ければ良いんです。20秒

DD++

21と13銀15歩が「23玉を22桂成両王手で詰めてくれ」と言ってるような配置だったので素直にやってみたらできちゃいました。普通の作品展なら好作でしょうがこの作品展の趣旨に適しているかというやや疑問かも？2分2秒

変寝夢

4手目うっかり3三玉にしかけました。2分ぽこ

41秒

もず

このように明確なテーマがある作品は、早く解けることが多そうです。2分30秒

占魚亭

見事な三段跳ね。10秒

橋圭伍

初形から3段跳ねれそうなので直ぐに解けました。1分

A-4 DD++作 協力詰 5手

解析数：14217

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						料			一
									二
					と		皇		三
					金				四
						王		銀	五
				龍					六
									七
									八
						角			九

持駒なし

65龍 46玉 76龍 55玉 66龍 迄

作者

この配置がまさか都詰だとは思えない！ ……とか言っておいて全員瞬殺だったらどうしよう。8枚中6枚が不動という恐るべき不細工な手順ですが、そういう作品を何の気兼ねも無く出せるのは経験の浅い人の特権、というわけで。

★初手 57角から読むのが普通の人。この初形から詰上りを想定するのは難しい。推理将棋で鍛えた感覚なんでしょうか。

たくぼん

4分7秒

小林看空

これは基本(2)。44金と39角の配置に迷わされた。5分

橋本孝治

右に行く手を読みたくなる構図から、左へ進む龍と玉は意外。角を出る紛れをなくせば枚数は減らせますが、それではこの催しの趣旨に合いませんね。2分52秒

変寝夢

こういう筋は最初に読むところなので・・・30秒

ぽこ

27分47秒

もず

55で詰め上がるのは見えにくいです。先に角を動かしたくなります。7分

占魚亭

ソッポが見えなくて大苦戦。10分

橋圭伍

感覚が一致したのか直ぐに解けました。3分

A-5 DD++作 協力詰 5手

解析数：56328

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						皇	皇		一
									二
					龍				三
					龍				四
									五
									六
						王			七
									八
					銀	銀			九

持駒 桂

47龍 26玉 23龍 35玉 27桂 迄

作者

龍2枚あって玉は横に2つ逃げて縦に2つ

逃げてでも盤端なので、そこを読まされる煩わしさと時間稼ぎが出来るのではないかと期待。普通の作品展なら「▲41 飛▲42 龍△55 玉、持ち駒桂」とかにして出品するんでしょうけどね。

★持駒の桂を打つタイミングを計りながら進めるが打つのは最後。慣れた人は龍をそっぽに動かしてみたはず。普通の47龍は盲点だな。

たくぼん

7分12秒

小林看空

玉の周りに駒がない吊し桂の手筋はいくつも作っているの、すぐに、わかりました。5分

橋本孝治

持駒桂を見落として時間を空費してしまいました。気付いた後は一瞬でした。3分14秒

変寝夢

いやー、やられました。3六玉の誤植かと思いました。30分以上

ぽこ

1時間8分

もず

これはいかにもな詰め上がりですね。2分

占魚亭

玉を挟む。2分

橘圭伍

先に桂を使う事を捨てたら解けました。15分

A-6 変寝夢作 協力詰 5手

解析数：2344

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			角					
			銀				飛	
				王				

持駒 桂

35角生 45玉 57桂 54玉 53角成 迄

★ 今回一番やさしかったのは本作。紛れが少なく気持ちよく詰ませたはず。作者はトップとラスという結果にどういう感想をもっているのでしょうかね。

たくぼん

59秒

小林看空

この詰め上がりも見慣れているので、53の地点を結ぶことを考えればよし。1分

橋本孝治

角銀桂の基本形。飛を避ける場所だけ探せば良いので易しい。31秒

DD++

角銀桂じゃ詰まないし駒補充もないので馬銀桂で詰めるしかないとなれば、ね。手順としては不成で引いた角が今度は成りながら戻るの面白い手ではありますが。2分57秒

ぽこ

58秒

もず

これは戦力が少ないので見えやすいです。1分

占魚亭

銀の尻をカバーすることに気付けば簡単。15秒

橘圭伍

流石に素朴すぎでした。1分

A-7 変寝夢作 協力詰 5手 1位

解析数：12558

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		角						
						龍		
				王				
		龍						
						馬		
			桂					

持駒 桂

38馬 55玉 47桂 46玉 35角成 迄

★ 今回1位の作品。山があたって34秒という猛者もいましたが、皆さん苦勞されたようです。空中での詰上りは暗算派の人はちょっと苦戦するかも。

たくぼん

3分58秒

小林看空

68桂が跳ねることを夢想していて、手間取ってしまった。基本(1)と(2)なのに、ね。20分

橋本孝治

前局が練習用でこちらが本命でしょうか。

うまくヤマが当たってくれました。34秒

DD++ (誤解)

これで桂打の詰みはなさそうなので初手桂打を決めつけて、あとは71角を生のまま置いてあるのは不成で使うのかな、という予想のもとに解図。86龍に邪魔させる方を先に考えてなかったら秒殺だったのに、おいしい。

★ DD++さんは初手57桂に64玉と逃げて惜しくも誤解でした。お疲れモードだったかも
ぽこ

無回答 2時間

もず

定番の詰め上がりですが、盤面左半分です。7分

占魚亭

初手47馬から離れられなかったです。12分

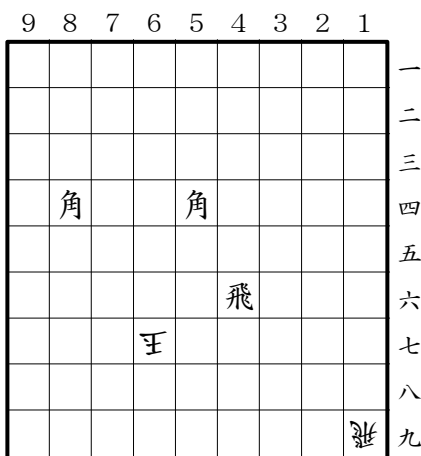
橋圭伍

上の生角が馬だったらもっと苦戦したかもしれません。10分

★ 71馬だと66桂-74馬の筋で余詰ありです。

A-8 若林作 協力詰 5手

解析数：3480



持駒 なし

66飛 58玉 36角 59玉 69飛 迄

★ 解析数は少ないのですが詰め難かったです。平均9分。

たくぼん

3分17秒

小林看空

飛角は成らないし、合駒は取れないし、と考えればこれしかないのだが、時間がかかってしまった。。25分

橋本孝治

両王手あるいは開き王手を見せてそのどちらも行わない。19飛がヒントにならなければ、もっと時間が掛かったかも…1分15秒

DD++

「この玉位置で筋違い角なら、九段飛以外だと飛角角3枚では詰まない」ことを1分で論証。なら合駒問題……いやいやまさか若林先生がそんなベタな問題作らんでしょう！とか言いながらも69飛が思いつかず15分以上合駒検討してしまった私。とほほ。20分20秒

変寝夢

意外と先手番での紛れ筋が多かった。7分

ぽこ

3分9秒

もず

盤の端に追い込む詰め上がりは最初に考えてしまいがちです。3分

占魚亭

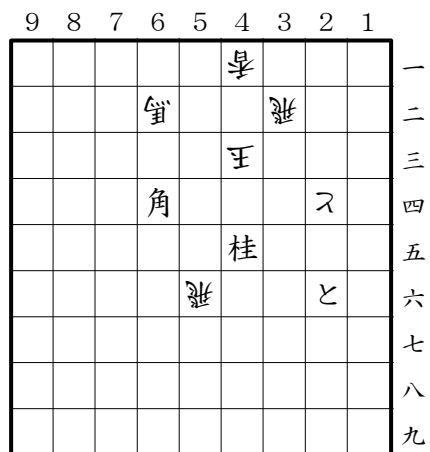
広いようできて実は狭かった。9分

橋圭伍

解けてみれば9段目に落とすのが自然な形です。10分

A-9 たくぼん作 協力詰 5手

解析数：12448



持駒 金2

53 桂成 44 玉 43 金 45 玉 44 金打 迄

★ 創っている本人はどれほど心理作なのかがよく分からないものです。こんなものでしょう。

小林看空

たくぼん流のごつい手順に手間取った。ばか詰を解くコツに、焦点に駒を動かさせ、というのを付け加えてください。とりあえず速報まで。8分

橋本孝治

強力な守備陣には両王手が定跡ですが、この構図では無理…ということで利き筋遮断に方針を切り替えて解決。マニア向けの狙いかもしれませんが、手順が地味ですね。2分

DD++

18分くらいまで当てずっぽうでひたすら62馬に邪魔され続け、「だったら初手で62馬の利きを遮ったらどうだろう→44の守りがかなり手薄に」+「26とが活きるためには34玉か45玉？」とそこでやっとあたりをつけることに成功。20分18秒

変寝夢

なるほど。筒井流だったか。3分

ぼこ

2分12秒

もず

どこで詰め上がるかを考えたとき、馬と香の両方の利きをさえぎって詰ますのは意外性がありました。5分

占魚亭

とぼけた味のある手順。4分

橘圭伍

作者読みが当たり瞬殺出来ました。1分

【B部門】

B部門は無駄駒、花駒あり。予想していた超悪形がなかったのでちょっとホッとしています。

順位	No.	作者	解答数	平均解図時間
1	B-3	DD++	6	22分10秒
2	B-4	若林	7	16分39秒
3	B-5	たくぼん	6	10分38秒
4	B-1	神無太郎	8	8分26秒
5	B-2	神無太郎	8	55秒

1位は平均22分を超えたDD++さんのB-3でした。心理的効果抜群の初手に解答者も翻弄されてしまいました。これはお見事でした。

B-1 神無太郎作 協力詰 5手

解析数：1861

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
										五
					龍		王	王		六
							王	王	王	七
								王		八
					龍					九

持駒なし

39 龍 38 桂成 28 龍 同桂成 26 角 迄

★ やる手は少ないのに桂を2枚成らす手順が見えにくい。このあたりが作者の技。

たくぼん

14分45秒

小林看空

38の地点に金気が欲しい。5分

橋本孝治

逃げ道を増やすような38桂成が盲点でした。今回の作品展のB部門で一番気に入ったのはこの作品です。4分1秒

DD++

この玉位置で桂が合駒制限とは思えないので、桂がいろいろ動くんだらうなどあたりをつけたら割と早い段階でヒット。4分39秒

変寝夢

キッチリ合駒の筋、読みました（まされました）よ。4分

ぼこ

1時間6分

もず

桂を成らせて後ろからという詰め上がりは見えにくいです。5分

占魚亭

桂を成らせて蓋をする。10秒

B-2 神無太郎作 協力詰 5手
解析数：638

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
飛	角	角	銀	桂	銀	王	香	銀	九

持駒 なし

57角 49玉 67角 59玉 68銀 迄

★ A,B 両部門の中で唯一平均解図時間が1分を切った本作でした。初形は協力詰初かもしれません。

たくぼん

19秒

小林看空

これは純情 3分

橋本孝治

あまりにあっさり詰んだので何回か確認しました。これはちょっと物足りない。23秒

DD++

飛角角の配列を見て、飛と玉の間が5枚であるのをパッと数えて、「あ、そういうこと？」で終了。27秒

変寝夢

これはらしくないような・・・15秒

ぼこ

1分52秒

もず

これはさすがに一本道かと。1分

占魚亭

素晴らしき一本道。10秒

★ 初形横一線に、一本道。この作品の狙いはまさかここに・・・(笑)

B-3 DD++作 協力詰 5手 1位

解析数：34917

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			皇	皇					一
						香	龍		二
								香	三
					香	王	香		四
				馬	歩			龍	五
									六
						ス	ス		七
									八
									九

持駒 角

45馬 同龍 35歩 同銀 25角 迄

作者

初手よりどりみどりの中で一番しょうもない、歩を補充する手を考えに入れるまでにみなさん何分かかるのでしょうかね。B-1と詰め上がりがかぶった（しかも駒を取らせて龍の利きを通すところまで）のが解図時間競争的には痛手ですが、歩に手をかけられればどうせみなさん一瞬でしょうし意外と影響は少ないかな？

★ 私は散々悩んだ挙句、45馬までは読んだのに35歩、同銀と龍筋を遮る手が見えず撃沈。無念です。それにしても作者は鋭いポイントを突いてきますね。今後、推理将棋だけではなくフェアリー作品での活躍も期待したいですね。

たくぼん

30分で解けず

小林看空

45歩が不自然な配置で気がついた。10分

橋本孝治

美味しそうな駒がいっぱい落ちている中で、一番役に立たなそうな歩を取る45馬の心理的抵抗感は強力。でも、32分は掛かりすぎですね。さすがに脳が疲労気味ということで、ここで一旦休憩を入れました。32分28秒

ぼこ

無回答 1時間

もず

無解 30分以上

占魚亭

竜の利きを消し、竜の利きを通す。3分

B-4 若林作 協力詰 5手

解析数：14847

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		季						季	二
			銀						三
						銀			四
				王					五
		銀							六
						銀			七
		季						季	八
				飛					九

持駒 角

23角 54玉 65銀 55玉 56角成 迄

★ 余詰・修正失礼いたしました。角を限定で打てる場所がヒントかも。

たくぼん

33秒

小林看空（余詰解答の後再解答）

こちらが作意でしたか。一度取り組んだ問題にまた取り組むのは、精神的にちょっと大変。

15分

橋本孝治

銀を3枚絡めたい形なので、銀が2枚しか絡まないこの平凡な手順が見えにくい。9分3秒

DD++

誤図での余詰解を見つけるまでに要した時間をどう取り扱うべきか困りましたが、誤図の方でも作意不成立だったわけではないので単純に加算で取り扱いました。30分以上

ぽこ

無回答 1時間

もず

無解 30分以上

占魚亭

角の打ち場所がポイント。2分

B-5 たくぼん作 協力詰 5手

解析数：44769

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							龍		四
				王					五
		龍							六
				角					七
		季	香	銀					八
									九

持駒 なし

69角 65玉 47角 64玉 74金 迄

★ 無駄駒でいろいろ取れる駒を置いてみましたがやはり金が皆さん欲しかったようです。私も欲しいです。もちろん。

小林看空

やはり金が欲しい。18分

橋本孝治

4方向のどちらに行くか。駒を取るのか取らないか。一見紛れがありそうですが、角金香の基本形を思い出して早期解決。最後の問題だけに少し警戒しましたが、何とか無事に終えられました。1分13秒

DD++

49の駒が銀だったらまず49角47玉から疑うところでした。4択で小駒1枚だけだとやっぱりそっちに手が動きますね。87角と龍の外を回るだろうというのはさすがに深読みしすぎましたが。5分38秒

ぽこ

無回答 1時間

もず

定番の詰め上がりですが、龍を取る手から考えてしまいました。3分

占魚亭

どの駒を取るかの選択。6分

【総評】

小林看空

ばか詰を解くコツは

- (1)バッテリーをつくること。
- (2)龍や馬は遠ざかること。
- (3)不成を考えること

とは、詰アルプスのみなさんの言。また、簡素な形ほど難しいとは、筒井くんの言。

★ かなりのヒントになっていますね。

橋本孝治

神無太郎さんのウォーミングアップも含め、久々に大量の問題を解きました。後の方になると詰みさえ分かればそれでよし…みたいな状態になってしまい、B部門の花駒チェックもしていません。今回の作品展は「頭を悩ます」のが主題ということで、紛れが多いためだけの悪問だらけにならないか危惧していましたが、どの作品もきちんと狙いが伝わってきたので安心しました。今回はお気に入り投票はないようですが、もしあったら特に印象に残ったA-1、B-1、A-4の3つに投票すると思います。

DD++

全員1番から解くと不公平があるだろうということでABそれぞれ逆順に解答しました。たぶん解答者で一番慣れていない私の解図時間が20分20秒の次が2時間オーバー(2つ)になったので、リミット30分というのはいい読みでしたね。それにしても拙作B-3が最多枚数とは。2人くらいは全駒配置してくるだろうと読んでいたんですが。

★ お心使いありがとうございます。ということは疲れる前に私の作品からでしたか・・・

変寝夢

(A部門)思ったより解けました。地味な筋ほど見えにくいですね。(B部門B-2まで解答)いやーあとは無理でした。この手は変な筋が見え出すとどうしようもなくなりますね。

ぼこ

いつも楽しく拝見させて頂いています。いつもは全く手も足も出ない状態ですが、今回は

普通の5手協力詰ということでやる気になって解いてみました。が、ウォームアップ編で1週間近く悩んでやっと14問中10問・・・という実力です。というかウォームアップ編で時間かけすぎて本編を解く時間が足りませんでした(汗)

解ける問題は比較的早く解けたのですが、一度悩むと全く解けませんでした。また、時間がなく1時間程度で諦めてしまったため、もっと時間をかければどうにかなったかもしれません。他の方にとっては簡単すぎて問題として掲載しないのかもしれませんが、たまにはこういう簡単(?)な問題を載せて頂けるととても嬉しいです。これからゆっくりWF P作品展のAコースを考えていこうと思います。

★今後とも解答よろしくお祈りします。

もず

心理作ばかりが出てくるのかと思ったのですが、手順そのものが面白い作品も多くて楽しめました。急いで解いたものの、B-3とB-4は30分考えても詰みが見えないのであきらめます。

占魚亭

いい頭の体操になりました。AよりBの方がやさしかったです。

橘圭伍

Bの方が時間足りなくて解答できませんでした。

【おまけ】

解答者の平均解図時間トップ3を出しました。

- | | | |
|----|------|-------|
| 1位 | 橋本孝治 | 4分05秒 |
| 2位 | 占魚亭 | 4分16秒 |
| 3位 | たくぼん | 5分35秒 |

橋本さんはさすがという成績ですが、2位の占魚亭さんのスコアも凄いの一言。今後の解答に期待しています。

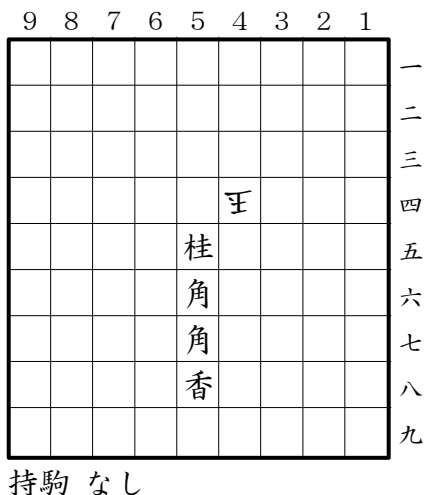
【呈章】何か送りますのでしばらくお待ちを。

作品の部・・・変寝夢さん、DD++さん
解答の部・・・橋本孝治さん、占魚亭さん

解くのに頭を悩ます？ 5手協力詰作品展
ウォーミングアップコース解答 たくぼん

本展のウォーミングアップコースとして掲載しましたが結構難しいのもありました。私の解図時間と感想を頂いた橋本さんの短評を掲載します。f mの解析数は参考としてみて下さい。

1 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：1846



35角 55玉 83角成 64玉 53角成 迄

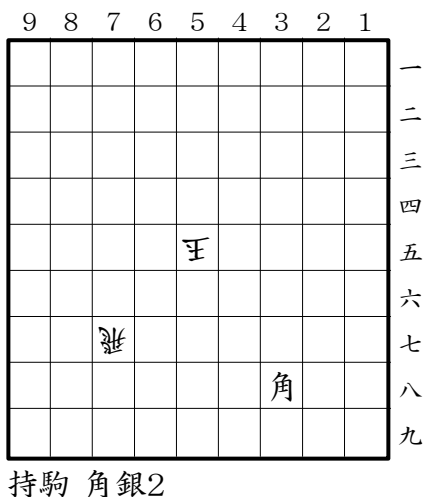
たくぼん

桂を取らすのがやや盲点 2分

橋本孝治

少考。鮮やかな詰上りで解きやすいはずですが、紛れが多いせいでしょう。

2 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：127483



64銀 45玉 34角 54玉 55銀打 迄

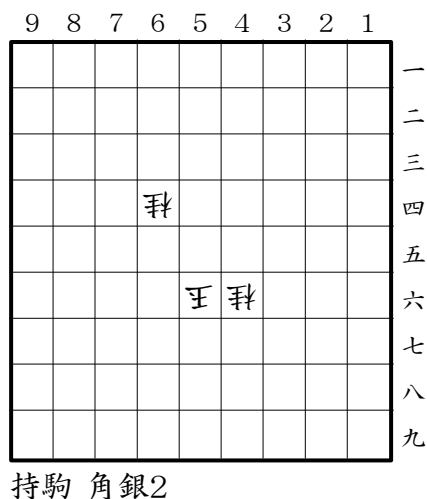
たくぼん

紛れが多すぎて、5分で解けず

橋本孝治

苦戦。作意が俗筋のうえ、紛れが多い。

3 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：120040



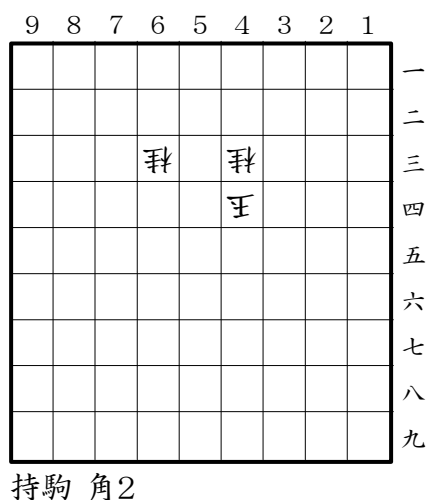
45銀 65玉 54銀打 55玉 44角 迄

たくぼん

この詰上りが第一感でしたが、3分43秒
橋本孝治

一目。

4 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：123667



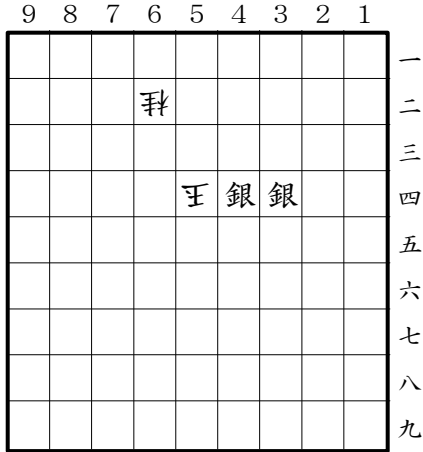
33角 53玉 62角 52玉 51角右成 迄

たくぼん

途中で不詰?と不安になりました。2分27秒

橋本孝治
一目。

5 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：5643



持駒 銀

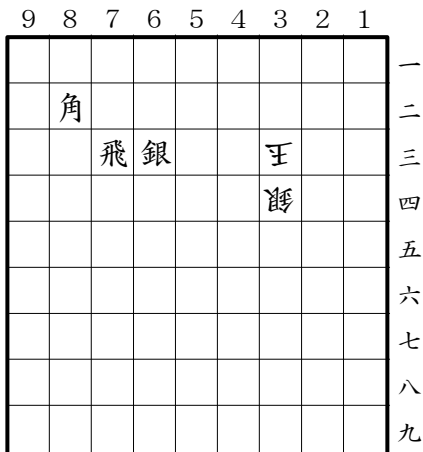
55 銀 63 玉 52 銀 53 玉 43 銀行成 迄

たくぼん

成が盲点。5分で解けず

橋本孝治
一目。

6 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：14592



持駒 なし

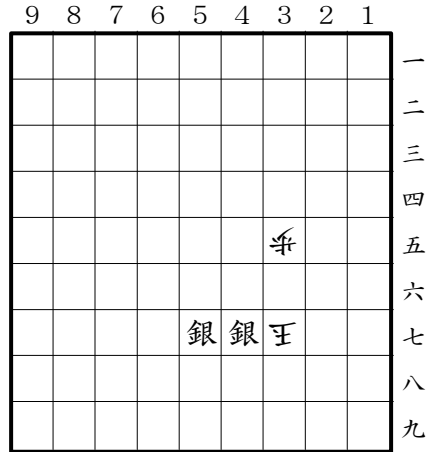
54 銀生 44 玉 45 銀 55 玉 75 飛成 迄

たくぼん

3手目 43 飛生を読みすぎた。5分で解けず
橋本孝治

少考。例の詰上りですが、紛れに時間を取られました。

7 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：126303



持駒 角2

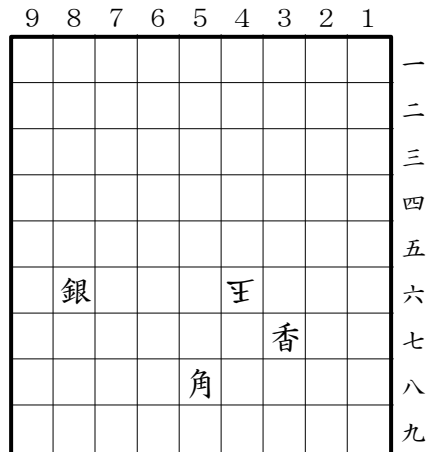
46 銀右 38 玉 49 角 47 玉 58 角打 迄

たくぼん

たまたま解けた感じ。1分8秒

橋本孝治
一目。

8 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：4825



持駒 金香

47 金 55 玉 57 香 66 玉 56 金 迄

たくぼん

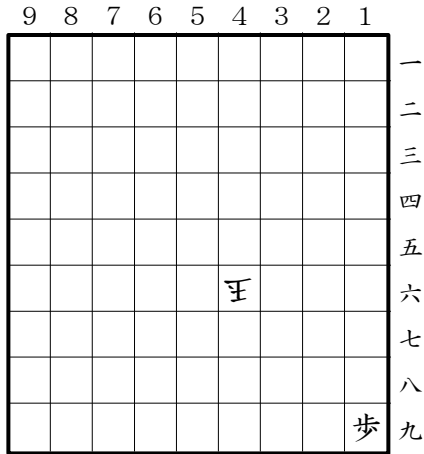
香打の限定の意味を考えすぎて時間がかかった。3分44秒

橋本孝治

少考。金を先に使う筋は抵抗があります。

9 神無太郎作 5手 協力詰

解析数：2076996



持駒 飛2角

35角 37玉 39飛 28玉 29飛打 迄

たくぼん (誤解)

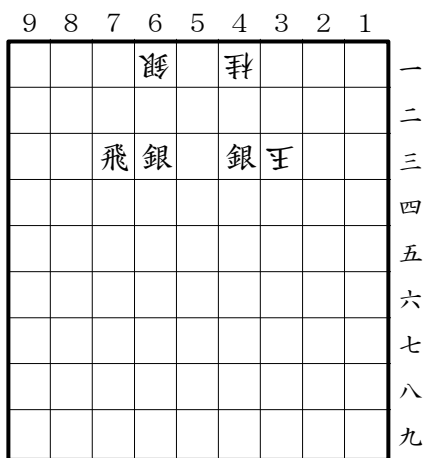
詰上りが速攻で浮かびました。38秒

橋本孝治

苦戦。最初持駒を「飛角 2」と誤認したせいもありますが、正しい図でも難しい。地味な手が盲点。

10 神無太郎作 5手 協力詰

解析数：11378



持駒 なし

32銀成 44玉 74飛成 53玉 54龍 迄

たくぼん

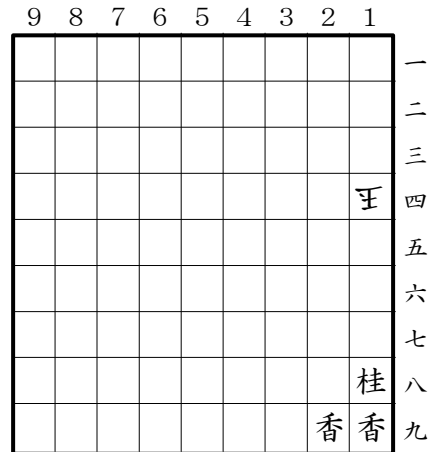
74飛成が出そう逆算解法。3分44秒

橋本孝治

少考。開き王手に誘われました。

11 神無太郎作 5手 協力詰

解析数：488



持駒 なし

26桂 23玉 14桂 12玉 22桂成 迄

たくぼん

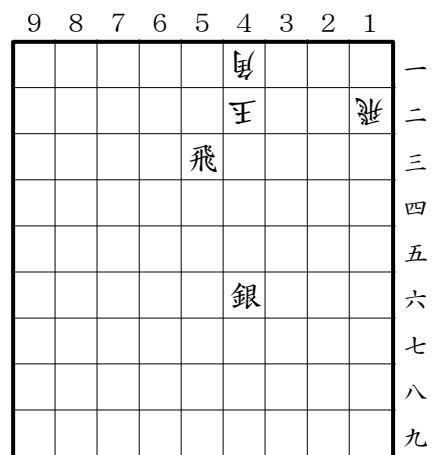
見たことあるような・・・11秒

橋本孝治

一目。でも、太郎さんらしい。

12 神無太郎作 5手 協力詰

解析数：26955



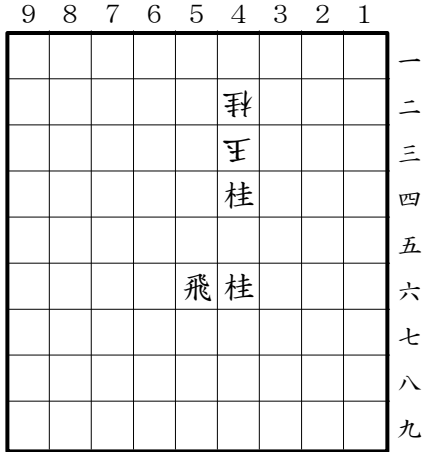
持駒 香

43香 33玉 42香成 44玉 43飛成 迄

たくぼん

捻くれてるのか一目でした。11秒
橋本孝治
一目。短打から最短距離開き王手。難易度を
度外視したマニア向け？

13 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：1059

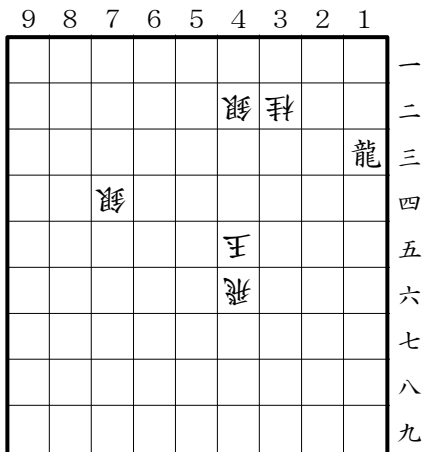


持駒 桂

55 桂 53 玉 63 桂成 43 玉 53 飛成 迄

たくぼん
飛捨てかなと思ったけど非限定なのでね。3
0秒
橋本孝治
少考。4枚目の桂を成圭で設置。これもマニ
ア向けっぽい。

14 神無太郎作 5手 協力詰
解析数：289563



持駒 角2

23 角 54 玉 45 角打 43 玉 34 角成 迄

たくぼん
23 角は第一感でしたが両王手の形が違うの
を追っていました。5分で解けず
橋本孝治
一目。

【総評】

橋本孝治
ウォーミングアップは全題解くのに 35 分掛
かりました。正確な時間測定はしていないの
で、どの程度考えたかは目安程度（一目、少
考、苦戦）で示します。一番難しかったのは
2 でした。

推理将棋第 6 7 回出題解説

担当 : DD++

出題 : 平成 24 年 6 月 4 日
 解答締切 : 平成 25 年 6 月 20 日

今回は中級の短評が担当の予想に反して阿鼻叫喚になっていました。もしかしてこれは上級で出すべきでしたかね……。そんな中、速攻で全題解答をくださった初解答者登場。嬉しい限りですね。

ついでに問題募集のお知らせです。毎年 9 月は 94 形式の出題としています。今年も第 70 回でやりたいと思いますので、問題案がある方は 7 月末日までにぜひともご投稿ください。94 形式がどんなものかは、第 36 回、第 48 回、第 59 回をご参照くださいませ。

6 7-1 初級 渡辺秀行作

41 馬迄で詰み

9 手

「さっきの将棋、41 馬まで 9 手で詰めたとき、先手は持駒なしだったよ」
 「そうだね、9 筋への駒打より後に 5 筋の着手があったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 41 馬まで 9 手で詰んだ
- ・ 終局時、先手持駒なし
- ・ 9 筋への駒打より後に 5 筋への着手があった

出題のことば (担当 DD++)

41 馬を作るのかかる手数は何手？

追加ヒント :

41 金を 52 へ上がるだけでは 96 角の利きの邪魔なので、そこからさらに……。

推理将棋 6 7-1 解答

- ▲ 7 六歩 ▽ 3 四歩 ▲ 2 二角成 ▽ 6 四歩
 ▲ 9 六角 ▽ 5 二金左 ▲ 3 二馬 ▽ 6 二金寄
 ▲ 4 一馬 まで 9 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	帝	王	馬	爵	科	皇		一
	飛		帝							二
歩	歩	歩		歩	歩		歩	歩		三
			歩			歩				四
										五
角		歩								六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩		七
								飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香		九

持駒なし

指定地点への馬の着手というのは短手数においてはヒントです。ましてその位置が 41 となれば、76 歩から角を成ってもさらに 2 回馬が動く必要があり、先手 5 手中実に 4 手もこれに費やされることになるわけです。

もちろん馬 1 枚だけでは攻め駒としては不足。よってあと 1 手は 41 に駒を利かせる手ですが、自陣から 41 まですぐに届く駒はありません。よってこれは駒打ちしかなく、それも条件から 9 筋から 41 に利かせる手ということになりそうです。91 飛の利きを通すのは現実的でないので、96 角と打つ手に決定ですね。

さて、一方後手は何を指せばよいでしょう。まず先手角に 22 に直接成ってもらって角をわたさなければいけないので 34 歩は確定。それから 96 角の利きが 41 まで届くように 64 歩も確定。そして玉が詰むためには 62 になにか後手駒を置いておく必要があり、これに 1 手。あと手をいれる必要があるのは 41 の金ですね。これがこのまま 41 に居座ると先手が最終手で金を取ってしまっただけで条件に合いません。残った 1 手はこれを逃げましょう。

さてこの金の行き先ですが、最後に 31、51、42 のいずれかにいると 41 馬に同金とできてしまうのでダメ。52 にいる場合は 96 角の利きが遮られるので 41 馬に同玉でダメ。ならば 32、と思いたいところですが、22 馬が駒を取らずに 2 手で 41 へ行けません。あれ、と首を傾げるところですね。

ここがこの問題のキモ。別に金を逃げる手が1手だけとは限りません。62になにか後手駒を置く手は金を逃げる手と二重の意味をもたせる手となりえるのです。つまり52金左から62金と2手かけて2つの課題を同時にクリアすればいいわけですね。これを52金左を96角の後まで待つように指せば作意となります。

それではみなさんの短評をどうぞ。

渡辺（作者） 「41馬の実現には76歩、角成、馬移動、41馬の4手その途中で取った駒を9筋に打つことから、41に利く96角も想像に易いと思います。あとは持駒条件から角以外は取らないように移動すれば、76歩、34歩、22角成、？96角、？、32馬、？41馬まで。あとは64歩の着手と41金の移動が必須となれば解けたも同然でしょう。」

■私は解説を丁寧に書きましたが、かいつまむとこれだけで解けるんですよ。

橘圭伍 「41馬と9筋着手から分かりやすい。左金で角筋を消す事で2度動かす辺りが巧い」

■守備駒を2回動かすのを限定するのはなかなか難しいはずなんです、さすがというべきか。

斧間徳子 「9手目41馬となれば、9筋の駒打ちは96角しかない。」

■詰みに無関係な駒打ちなんてしてる暇ありませんものね。

NAO 「手順前後と非限定が多そうな筋。少ない条件で馬の軌跡を限定してますね。」

■馬は角を取らせればまだ楽ですが、金が。

キリギリス 「9筋に打つ駒は41馬の足になる96角と想定して考えました。」

■初級はだいたい素直に想定していけば解けません。……のはずです。

はなさかしろう 「最終条件がいかに巧み。金の移動が好感触でした。」

■渡辺さんの得意技。

チャンプ 「作者特有の条件付けで巧く余詰めと手順前後を回避しているのが好印象。初級ながらも緊張感のある手順だと思います。」

■96角なんていかにもな手も含まれてますしね。

はらたつ 「先手持ち駒ナシで馬の動きが限定されました。」

■持駒なし条件がここまで綺麗に働くのも珍しいものです。

平井康雄 「9筋の後の5筋」が巧妙。この1文だけでかなりの部分が限定されるのには感心した。」

■角の打ち場、金の軌跡、手順前後と八面六臂の活躍。

しまぎろう 「手順限定の方法が面白いですね。」

■渡辺さんの限定手段は独特です。

占魚亭 「取れる銀を取らないとは慎ましいですね。」

■お礼に32馬も取らないであげた結果がこれです。

隅の老人B 「金を逃げる？のが、好手。短い？条件、これまた良しです。」

■41馬までというのが手数とくっつけられているのでスッキリしてます。

たくぼん 「金の移動がユニーク。持駒無し条件がよく利いている」

■左右逆の52金右42金寄はよく見るんですけどね。同馬と取らせる目的で。

ひろぼん 「角を打つ場所が分かればあとはすんなり決まるかな」

■初級ですから、さっくり気分よく解いてくだ

されば。

S.Kimura 「左金をわざわざ2回動かして壁を作るところが良いですね。」

■それをいかにも気取らせない条件が素晴らしいです。

鈴木康夫 「41 馬を支えるのは9筋に打った駒すなわち角だと判れば簡単でした。」

■むしろ迷う余地を探すほうが難しいかもしれません。しかし初級はこれでよし。

やまかん 「金の動きがいいね。」

■実戦でもこの金の動きを振り飛車相手に……さすがに暴挙ですか。

諏訪冬葉 「41 馬とする前に金を動かす必要があったのですぐ浮かびました。」

■さすがに一度取って打ってまた 41 馬は無謀ですからねえ。

正解：19名

S.Kimura さん 斧間徳子さん キリギリスさん ジェシーさん しまぎろうさん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん 橋圭伍さん チャンプさん NAOさん はなさかしろうさん 平井康雄さん はらたっとさん ひろぼんさん やまかんさん 渡辺さん

6 7 - 2 中級 チャンプさん作
歩の行進 14 手

「はい、この不成の初王手で詰みだね。」
「君（後手）は1つの筋の歩の手しか指してないのに、たった14手で負かされちゃったや。」

「歩を笑う者は歩に泣くってね（笑）」
「初手に68の升目へ指した手がマズかったかなあ？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・14手で詰んだ
- ・初手は68の地点への着手
- ・後手は1つの筋による歩の着手のみ（例：2手目に△34歩と指せば、最後まで3筋の歩の着手）
- ・最終手の不成が唯一の王手

出題のことば（担当 DD++）

後手条件を成立させるカラクリとは。

追加ヒント：

「8筋か9筋目指して初手68玉」はひっかけ。1筋側で雪隠詰を目指しましょう。

推理将棋 6 7 - 2 解答 担当 DD++

- ▲6八飛 △1四歩 ▲4八玉 △1五歩
- ▲3八玉 △1六歩 ▲2八玉 △1七歩不成
- ▲同 香 △1六歩 ▲1九玉 △1七歩不成
- ▲2八銀 △1八歩不成まで14手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	
二		飛						角		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
四										
五										
六										
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
八		角	飛					銀	歩	
九	香	桂	銀	金		金		桂	王	

持駒 歩

一見不思議な問題です。これが10手なら歩が八段目まで進んだのだろうと想像出来ますが、12手になると九段目に歩不成はできませんし、まして14手となるとそもそも十段目は存在しません。はて。

このカラクリに気づくのがスタートラインです。後手の条件は「1つの筋による歩の着手のみ」。これが1枚の歩とは言っていないのがミソです

ね。つまり、後手歩が先手歩を取り、最初の歩がなくなった（成ったか取られた）ところで同じ筋に歩を打てば条件を満たしたまま手が継続します。

さて、次は同じ筋の歩の手ばかりで歩不成まで詰み、ができる地点はどこでしょう、という問題ですね。主候補は1筋8筋9筋という飛香先の七段目八段目、計6箇所。それぞれ最少何手で詰むか考えてみましょう。14手、すなわち先手7手で可能なものがあればそれが答えです。

(1) 97歩不成まで。玉が98まで行くのに4手。角をどけるのに1手。桂をどけるのに1手。88地点を飛車で埋めるのに1手。89地点を別の駒で埋めるのに1手。この時点で先手8手なので合計16手かかってしまいますね。

(2) 98歩不成まで。玉が99まで行くのに玉4手。その際8筋の通り道を開けるのに1手、塞ぎ直すのに1手。香は99歩成で取らせるには都合が悪いのでこれを進めて1手。おや、7手でよさそう。並べてみましょう。「68玉、94歩、78玉、95歩、98香、96歩」……さて困りました。97歩同角を進めないで残りのいずれの手も指せません。必要な手は14手でも実際並べると16手（先後入れ替えれば15手）かかる手順だったようです。

(3) 87歩不成まで。98香99角と9筋側を塞いで2手。88玉まで3手。78飛と塞いで1手。おや、必要な先手の手は6手でしょうか？ いえいえ、後手歩を取る手が必要です。玉では取れないので78金87金で歩交換に応じるよりなく、先手8手なのでこれも無理です。

(4) 88歩不成まで。これは9筋側がまともに埋められませんね。歩を突いて89桂を跳ねて、玉が入る前に98香88飛89飛99飛で埋めて、89玉までが3手で……もはや何手かかるか全部列挙するまでもなく手数オーバーですね。

(5) 17歩不成まで。これは97歩不成までと同じ、つまり先手8手で無理。

(6) 18歩不成まで。これは98歩不成までと同じなので先手7手です。並べてみましょう。まず68は玉ではないので飛をどける手ですね。

そして香は歩交換に使うために温存する必要があるなのでこの後は玉をひたすら移動。7手目28玉となるので王手がかからないよう8手目17歩不成、9手目同香、10手目は最終地点から逆算して16歩と打って手が続きます。11手目19玉と雪隠に入り、13手目28銀と逃げ道を塞いだタイミングでピッタリ18歩不成がきて詰み。

つまり正解は(6)で考えた順でした。(2)との差は「飛は簡単にどけられるが角は17歩がいなくなるまでどけられない」差。端の歩ばかり着手する順は角側ではなく飛側を使うのが実は手筋なのです。

それではみなさんの短評をどうぞ。

チャンプ（作者） 「一人でも初手▲68玉を考えて頂けたらそれだけで満足です(笑)」

■という発言を見て私は「いやいやさすがに3人くらいはいるでしょう」と思っていました。ところがいざ蓋を開けてみると……。

斧間徳子 「8筋ではなかったですね。四間飛車穴熊、完敗の巻。」

■犠牲者1人目。後手が手パスできれば8筋が一番早いんですけどね。

NAO 「19で詰むことがわかれば難しくないが、「初手68」で玉が左に誘導されました。99で詰まないことがわかるまでが大変。」

■犠牲者2人目。けっこう手をいじる余地があるのでなんとかかなりそうに見えてしまうんですよ。

ギリギリス 「▲98香▲99角▲88玉▲78飛△87歩が最初に浮かんだのですが、これはNG。次に▲99玉▲88角(銀)△98香を考えましたが16手になってしまい悩みました。」

■犠牲者3人目。しかも16手の中で先後双方に待ち手があるのででもどかしい。

はなさかしろう 「後手の攻め筋は3通り、なのに初手68につられて1筋の検討が3番目に。よもや最近衰えて善人になってしまったのでは

あるまいか？と、我が事ながら心配です。」

■犠牲者 4 人目。はなさかさんなら「これが玉だとすると 3 手目と 5 手目の前後を限定できそうにない」とかやってくるかと思ったのですが。

はらたつと「8 筋 9 筋はムリであることを確認し 1 筋でした。」

■犠牲者 5 人目。この順で考えるのがダントツ一番人気のようです。

平井康雄「まさか 1 筋とは……、ヒントなければ絶対思いつきません。28 銀が絶妙なアシストですね。」

■犠牲者 6 人目。言われてみると飛車の横利きも消してるんですね、これ。

しまぎろう「ヒントが出るまで 68 玉と信じてました。」

■犠牲者 7 人目。完全にチャンプさんの手のひらの上でしたね。

たくぼん「ヒントを見るまで注意は左に行ってみました。やられた～って感じです」

■犠牲者 8 人目。左側に死にぞこないの玉が死屍累々。

ひろぼん「初手が 68 玉だと思い、8 筋から詰ますものだと思ってしまいました。」

■犠牲者 9 人目。87 歩不成まで、形よく見えませぬ。

S.Kimura 「「初手は 68 の地点」が実に巧妙でした。58 や 78 なら全然悩まなかったのに……」

■犠牲者 10 人目。「6 筋」ではなく「68」としたのも効果を高めたでしょうね。

鈴木康夫「88 銀 99 玉型で 98 歩不成の詰み形は見えましたが角を退かすにはどうやっても手数不足が足りません。ヒントを見てなるほど飛車なら一手で退かせるのか、となりました。」

■犠牲者 11 人目。左右逆にすぐに思い至らない理由はやっぱり 68 が左右限定のためだという先入観でしょうかね。

やまかん「ヒントがなかったら難しかったかも。香車動かして穴熊にするのがピッタリですね。」

■犠牲者 12 人目、でいいんですかね、ヒントの内容からして。この類の手順は香頭に玉を乗せる順も穴熊もどちらも多いですね。

諏訪冬葉「「玉が端に移動するのに 4 手」「進路にある大駒と香車をどかすのに 2 手（どちらかで歩を取る）」「飛車の利きと逃げ道を銀でふさぐのに 1 手」まですぐ分かったのに初手▲68 玉とやって迷走しました。」

■犠牲者 13 人目。角はなかなかどかせないんですよ、残念ながら。

と、なんと 13 人もの方が 68 玉にやられたようです。ミスディレクションで解答者を引っ掛けた率は文句なく歴代 1 位でしょう、これは。中級での出題は疑問手だったかもしれません。

占魚亭「初手 68 玉とは騙されませんよ(笑)。」

■ここまでを見てから占魚亭さんの評を見ると実に頼もしい限りです。

橘圭伍「似た作品は昔からあるが成らずは初めてですかね？この筋は飛車側に寄せるのが手筋と知っていれば易しい」

■不成と成、半々くらいじゃないでしょうか。不成手順は端攻めを隠してる条件付けしてるのがままあつたりしますが。

渡辺「9 筋側だと、ふたの開閉に 3 手かかってしまうところがミソ。」

■97 歩不成を同角と取って 88 角 or 銀ならなんとか 2 手で。手順構成はできませんけど。

隅の老人 B「どの筋の歩を突こうかな？これが決まれば、初手も確定。」

■しかしそこを決め間違えて玉砕した方が 13

名もいたというのだからまったく難しいものです。

正解：19名

S.Kimura さん 斧間徳子さん キリギリスさん
 ジェシーさん しまぎろうさん 鈴木康夫さん
 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん
 たくぼんさん 橋圭伍さん チャンプさん
 NAOさん はなさかしろうさん 平井康雄さん
 はらたっとさん ひろぼんさん やまかんさん
 渡辺さん

67-3 上級 NAOさん作

十二橋巡り

12手

「6月は水郷あやめ祭り。アヤメとカキツバタとハナショウブは、よく似てるけど別の花だって知ってた？」

「花の名前は知らなかったけど、さっきの将棋、初手から4手目までは全て別の筋の手を指していたよ。初手と2手目は歩以外の手だったけど9手目は歩の着手だった。成る手はなくて、12手で12カ所に着手して12地点の手で詰んだ」

「ぎっちら、ぎっちら、ぎっちらこ。潮来花嫁さんは舟でゆく。水郷の舟旅で十二橋巡りを楽しんだってことだね」

(条件)

- ・12手で12カ所に着手して12地点の手で詰んだ
- ・初手から4手目までは全て異なる筋に着手
- ・初手と2手目は歩以外の着手
- ・9手目は歩の着手
- ・成る手なし

出題のことば (担当 DD++)

最終形を正しく予測することが重要。

追加ヒント：

56玉だと玉腹を塞ぐのが大変ですが、45玉まであがればどうでしょう。

推理将棋 67-3 解答 担当 DD++

▲5八玉 ▼3二飛 ▲4六歩 ▼2四歩

▲4七玉 ▼3四歩 ▲5六玉 ▼3五歩

▲7六歩 ▼8八角不成 ▲4五玉 ▼1二角
 まで12手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	王	王	爵	科	皇			一
							飛		皇	二
歩	歩	歩	歩	歩	歩				歩	三
								歩		四
					王	歩				五
		歩			歩					六
歩	歩		歩	歩		歩	歩	歩		七
	皇							飛		八
香	桂	銀	金			金	銀	桂	香	九

持駒 なし

最終手が12の手。これで後手玉が詰むならともかく、先手玉が詰み。疑り深い方は12へ駒を動かす開き王手を考えたかもしれませんが、やってみると全くもって無理。12角を遠く利かせて詰ませるしかなさそうです。N手N箇所着手条件は一度動いた駒は取れないので、この12角は88角不成で取ったもので間違いなさそうですね。12角と88角の間の利きが川の流れを連想させます。横切る枠線が12本でなく13本なのが非常に惜しい感じですが。

そしてもう1つ、この問題では後手歩が非常に邪魔だということに気づいておきたいところ。まず一番嫌な存在が33歩。角道をあけるために34歩と突かねばならないにも関わらず、すると今度は12角の利きが通らなくなる厄介な駒。とはいえ先手から33角成とかすると角が取れなくなってしまうので2回突くのはやむなし。ついでに23の歩も24に突いてやるしかないですね。後手は歩をどけるだけで実に3手の浪費。88角不成や12角を合わせると残りはたったの1手。

さてここで、この手の離れた角で上から詰ます形についての必須知識が登場します。それは「玉腹は味方生角か敵駒の利きで塞ぐしかない」というもの。しかし今回の場合88角はもう絶対

に取れませんので前者はありません。よって玉腹は後手が封じてあげるしかありませんが、ただし、後手が使える残りの着手は1回こっきり。ですので見方を変えましょう。後手が「34歩 35歩 24歩 88角不成 12角」と「もう1手」を指して利きを作れるところの隣が最終玉位置に違いない、というわけです。

79角不成ならどこにも利きは作れますがこれだと上へ逃げ放題、というわけでこの角は動かさせません。そして後手玉は頑張っても五段目までしか上がれません。そうすると候補はたった1箇所だけ。32飛と指して35に利かせる、この形だけ。54地点と36地点は後手歩で押さえられていますのであとは先手が46歩を突いておけば45の玉は詰みそうに見えます。さてこれでうまくいくでしょうか？

初手と2手目は歩でないので、「48or58玉、32飛」から出発です。3手目は46歩か76歩ですが、46歩の方は9手目まで待つわけにはいかないのだから3手目に。最初の4手に筋の重複がないということなので初手は58玉の方に確定しますね。そして同様に4手目に34歩は突けず、ここは24歩の方になります。「58玉、32飛、46歩、24歩」ときました。

先手は76歩をひっぱらないといけないのでひたすら玉を上がり、後手は角をまだ動かさせないので3筋の歩を突いて「47玉、34歩、56玉、35歩」と続き、9手目から満を持して76歩88角不成のやり取りが入ります。仕上げに45玉と上がって条件通り12角で詰み。着手地点数は問題なく12ヶ所ありますね。

それではみなさんの短評をどうぞ。

NAO（作者）「自作。難易度はどうでしょうか。実は手順よりも会話文の出来を気にしていたりします。いかにも昭和っぽい冗長すぎたかな。」

■45玉が見えればそこからはすぐですが、56玉だと予想すると大変な問題でした。上級ならこんなものかと。会話は私も冗長なのをよく作るのでも何とも言えず。

橘圭伍「解けなくてとりあえず同じ条件で自分

で作ったら同じ手順だったという懐かしい作品(笑 解く段階で何が盲点だったのか…)

■76歩を終盤までひっぱるのが盲点になりやすいかと。普通に指すとこれが9手目まで保留していいなんて思いませんもん。

斧間徳子「最終手は12角しかなさそう。2手目に意味のある手は何かと考えたら32飛に思い当たりました。面白い手順だが、手順限定が大変。」

■なるほどそちらから解く方法もありましたか。

はなさかしろう「歩以外の2手目を生かすには32飛、それなら玉は45までですね。」

■なるほどそちらから……の方が実は簡単だったのでしょうか。検討には使えない方法ですが。

チャンプ「バラバラになったピースを一つずつハメ込んで行くような問題。理詰めで解けるので上級としては比較的易しい部類ではないかと推測。ただ、こういった作品をいざ創るとなると大変なんですよ(笑)」

■私は難しめかもしれないと思っていたのですが、短評を見る限りそうでもなかったようで。

はらたつと「詰め上がり図から先手6手後手6手を条件に当てはめて出来ました。」

■間違った詰め上がりから6手6手にしようとして数日悩んだのが担当です。

平井康雄「ヒントで最終形の想像はついたが、「9手目歩の手」が最後の関門。ギリギリまで76歩を我慢するのがポイントでした。」

■本将棋でも推理将棋でもだいたい真っ先に突かれる歩ですから、9手目まで待つのは見えにくい。

しまぎろう「詰上がりで中合を考えてしまいました。」

■こんな形が登場する大道棋はありそう。

渡辺 「一石二鳥の9手目条件。合駒があれば詰みじゃないのに。」

■34合は妙手ですね。合駒さえあれば。

占魚亭 「「12の着手で詰み」という条件を見落としていました。問題文をしっかりと読まないといけませんね(汗)。上記の理由で36歩・45玉・56歩の形とっていたので、9手目は36歩しか考えていませんでした。76歩とは！」

■12という数字が並んでいるので混乱しないように読まないといけませんね。

隅の老人B 「たぶん、これで正解。駒を動かして条件を確認です。」

■解けた後の条件確認は大事ですね。

たくぼん 「詰上りが予想しにくい難問でした。」

■45玉は下が空きそうに見えて心理的抵抗が少なくないですね。

S.Kimura 「玉を78, 67, 56に動かすことや、23に動かすことまで考えたのに、45に動かすことをなぜ思い付かなかったのか・・・」

■灯台下暗し……ではないですね。帯に短し襷に長し……も意味が違いますか。

鈴木康夫 「12の駒は角と考えるのが自然、78、67、56では詰み難いので45玉であることほぼ明らか。とは言え初期位置から移動した駒が取れないと言うのは思った以上にきつい制限でした。」

■そうなんですよね、双方の角を活かすと角を渡せないという。

やまかん 「これはわかりませんでした。考えた順は58玉(48玉)、32飛、76歩、24歩、46歩、34歩、47玉、88角不成、56玉、35歩、45玉、12角みたいな手順でしたけど9手目の歩の着手の条件がクリアできません。もしかしたらこの歩は打つかもしれませんが

その手順が思いつきません。」

■おいしい！！ 76歩はそこで急ぐ必要がないので9手目でもよかったんです。

正解：16名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん ジェシーさん
しまぎろうさん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん
諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん
橘圭伍さん チャンプさん NAOさん はな
さかしろうさん 平井康雄さん はらたっとさん
渡辺さん

総評

橘圭伍 「これ位の難易度が気楽に解けて良いですね。投稿作品の割り振り時にこの位の作品はメモに出したいですが難易度は作者に分かりにくいという弊害…」

■9手～11手くらいはたぶん何を投げてもらっても大丈夫です。それより長いのは今回の中級のように「先手/後手は〇〇だけ」系の制限をかけてあるものならそこそこまでは大丈夫かと。

ジェシー 「いつもは、出題をチラ見しても、全然分からなくてすぐに諦めていたのですが、今回はなぜか初級問題を眺めていたら解けてしまい、調子に乗って中級と上級にも取りかかってしまいました。今後ともよろしくお願いたします。」

■慣れている人でもチラ見で解けないことはよくあることです。今回の上級が解けるなら何度か考えていれば解けるだけの力量はあるでしょうから、今後も諦めずにぜひご解答ください。

NAO 「あやめ祭りにあわせて出題していただいてよかった。DD++さんありがとうございます。」

■実は投稿いただいた時からこのタイミングでの上級枠を確保してありました。

チャンプ「三ヶ月連続で中級に採用して頂き光栄に思います。ただ、大量に投稿した作品を思い返すと少し意外な感じですね。さすがにもう尽きたのではないのでしょうか？(笑)」

■ずっと中級を使っていたので上級作の方の出番がなかなか回ってこなくてですね(汗)

はらたつと「mixi で考えたことがある問題だったのですが時間はかかりました。」

■たしかに今回は中上級ともかなり昔に mixi で一度出されていた問題でしたね。

平井康雄「今回も最終ヒントが出るまでは考える気が全く起こりませんでした。」

■上級は文字通り上級者向けなので自信がなければ最初からヒント待ちも手ですね。初級くらいはノーヒントで挑んでいただきたくはありますが。

しまぎろう「ヒントのおかげで3問とも解けました。ヒントを出すのがお上手ですね。」

■毎回何度も内容を推敲して出しております。けっこう頑張ってるんですよ。

隅の老人B「梅雨、雨降りですぐ外出も出来ず。推理将棋でも(でもだよ)考えよう。これである日が暮れました。」

■梅雨入りしてしばらくは晴れが続いたと思ったら台風が来たり、今年はよくわからない梅雨でしたね。

鈴木康夫「ここ何か月かは先陣争いをしていたのに、今月は気が付いたら締め切り前ヒントが！締め切まで半時間と言う時点でこのメールを書いています。」

■さて、第68回は何番目に飛び込めるでしょうか。

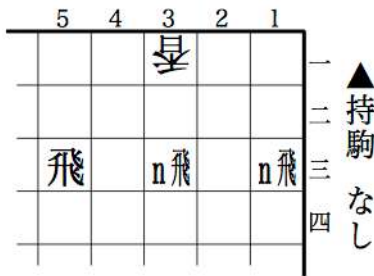
推理将棋第67回出題全解答者： 19名

S.Kimura さん 斧間徳子さん キリギリスさん ジェシーさん しまぎろうさん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん 橋圭伍さん チャンプさん NAOさん はなさかしろうさん 平井康雄さん はらたつとさん ひろぼんさん やまかんさん 渡辺さん

上田吉一氏の「極光2」(JCPS 発行) を手に入れ、中立駒の世界に感動しました。是非紹介させて下さい。

1 中立駒の特徴

1.1 どちらの手番でも動かせる



1 3, 3 3 にいるのが中立駒です (n = ニュートラル)。可成地点などはその手番の条件と同じになります。先手番だと、4 3 飛成や 3 9 飛等指せます。同様に後手番だと 3 9 飛成や 4 3 飛等と指せます。

1.2 どちらの手番でも取られてしまう

先手は 3 3 飛成と、後手は 3 3 香と指すことができます。

1.3 手番側の駒を取ることはできない

先手は 5 3 n 飛成、後手は 3 1 n 飛と指すことはできません。では 1 3 n 飛成、3 3 n 飛成はどうでしょうか？

取ることができます。これは私流の解釈ですが、中立駒が先手の駒に変化するときはあくまで着手する駒だけであって他は中立駒のままです。

つまり 3 3 n 飛をつまんだ瞬間 3 3 n 飛は 3 3 飛になります。1 3 n 飛はそのままで。よって前項どおり 1 3 n 飛成と指すことができます。

また取った中立駒は、やはり中立駒のままです。手番側の駒台に乗ることになります。使うときは 9 9 n 飛等と打つことになります。

1.4 その他

二歩はいかなる状態でも禁止です。すでに歩(手番問わず)や n 歩がある筋に n 歩は打てません。味方の歩や n 歩がある筋にも歩は打てません。また n 歩を打つての詰みは打歩詰です。

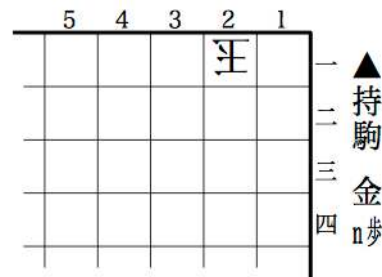
行き所がないという状態はないので、例えば n 歩を最上段に打ったりすることもできます。

2 中立駒で作ってみませんか

上田氏以降詰パラも含めて、中立駒を使った作家はほとんどいませんでした。それは「極光2」のレベルがあまりに高いことも関係しているのではないかと考えています。というわけでこの節では、中立駒愛好者の増加を願う者としてフェアリー作家の皆様に、敷居が低くなるようなことを勝手に提案させていただくことにします。

2.1 短手数物作ってみませんか

いまや一ジャンルとして認知されているばか詰、詰めパラ等のかしこにおいてもやはり一番人気があるのは、短手数の小品です。かしこ、標準駒使用フェアリーでできるテーマは大体大丈夫そうです。ということで作ってみました(これ以降出てくる図面はすべてばか詰です)。



作意は 2 2 n 歩、2 3 n 歩、2 2 金まで3手です。私がフェアリーに関心を持って最初に考えたばか詰らしきものは玉方 3 2 玉 持駒金歩の3手詰でした。最初の2手での拠点作りで中立駒ならどういったことができるのか、といじってみました。結果後手が王手を掛けている中立駒を移動させた場合、元いた位置が拠点になることが分かり完成です。簡単ですが、新鮮味ありませんか？。n 歩を角に変えてみると、

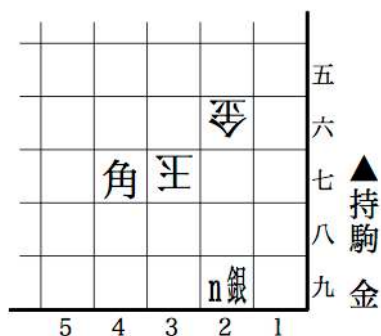


のようなことができます。フェアリーでは短手数の小品が多く発表されるようになるとそのルールは発展していくものだと思いますので、皆

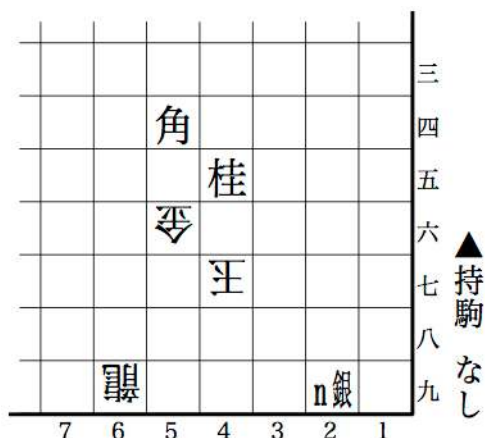
さん是非チャレンジしてみてください。

2.2 中立駒ならでのテーマ考えてみませんか

作品を手がけるときはテーマを決めてから作る場合も多いですよ。中立駒ではどんなテーマが存在しているのでしょうか。思いついたのは、先手が中立駒を移動（打）し、直後に後手はその中立駒で先手の駒を喰うといったものです。解図してみてください



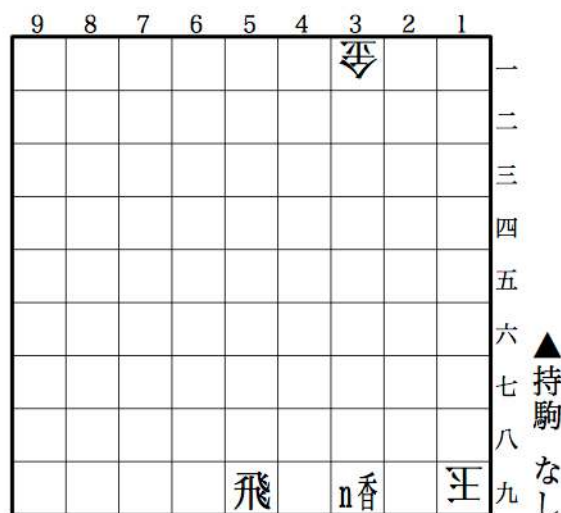
作意は3 8 n銀、4 7 n銀生、3 8 金まで3手です（4 7 角は飾りですが）。源泉館風の味がありませんか？。さらになるべく連続でn銀を動かすよう逆算すると、



（作意3 8 n銀、2 7 n銀生、3 6 n銀、4 5 n銀、5 6 n銀、5 7 n銀生、4 8 金まで7手）のような小洒落た手順も抽出できたりします。面白そうなテーマ見つけてみませんか？。

2.3 昔使われた趣向や手筋を再表現してみませんか

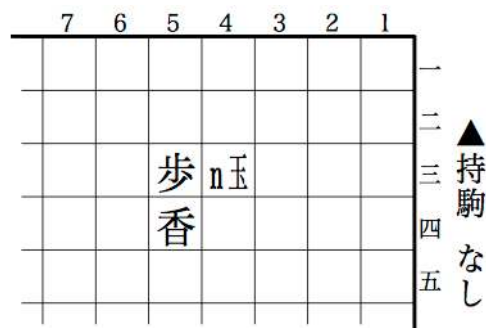
「極光2」の中でも取り入れられている手法です。気楽に取り組んでみませんか。私は最遠移動を選択しました。おやおや往復で入りそうですね。



作意3 1 香生、3 9 香成、2 9 金まで3手驚きの(?) 2手での最遠往復でした。他に相性が良さそうなのは、鋸、ハガシあたりでしょうか。まだ未知のものもありそうです。是非「極光2」をお手本にしてトライしてみてください。

2.4 上田さんに挑戦してみませんか

いきなり刺激的なタイトルですね(笑)。実は「極光2」26番の解説中「n玉やロイヤルn駒はどうすれば面白くなるのだろうか？。誰かやってみませんか。」と述べておられます。創作意欲が湧いてきませんか。というわけでn玉（ロイヤル中立玉）を説明しますと中立駒の玉バージョンで、先手の手番の時は後手玉に、後手番の時は先手玉になります。ばか詰なら先手の手でn玉を詰ませればいいのです。さてどんなことが可能でしょうか？。普通王手を掛ける際は攻め駒を玉が利きに入るように動かすのですが、n玉ではn玉を攻め駒の利きに入るように動かすという方法でもできます（レトロ詰のようですね）。後者に注目して3手詰を作ってみました。



作意は5 2 n玉、5 1 n玉、5 2 歩成まで3手です。こういったものができればしめたものです。5 4 香を下げて5 4 n玉の王手の形が見えますでしょうか。そうすると、

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			桂	歩					三
									四
			香						五
									六
			香						七
									八
									九

▲持駒なし

作意 5 8 n 玉、6 7 n 玉、5 6 n 玉、6 5 n 玉、5 4 n 玉、6 3 n 玉、5 2 n 玉、5 1 n 玉、5 2 歩成まで 9 手といったものができあがりしたりします。n 玉の特徴は出せているのではないかと思います。皆さんの明晰な頭脳から、上田さんを唸らせる作品が出てくることを、愛好者の一人として期待しております。

3 最後に

中立駒を使った詰将棋の領域はまだ未開発です。かしこや現存のフェアリールールでは不可能なことができたり、中立駒を使えばスマートに表現できたりすることが沢山あるはずです。折角偉大なる先人が開いて下さった道、一度も通らないのはもったいないと思うのですが…。

以上

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

7月28日(日)

JIGSAW BOX#08

フェアリー作品 1 作

8月15日(月)

第53回 WFP 作品展

フェアリー作品 1 7 作 推理将棋 2 作

Fairy of the Forest #36

フェアリー作品 3 作

9月15日(日)

第54回 WFP 作品展

フェアリー作品 1 1 作 推理将棋 1 作

9月25日(水)

王手が9割

推理将棋 1 作

あとがき

詰将棋メモの推理将棋出題の日が、月初めから 22 日当たりに変更になりましたね。WFP の発行が 20 日ですので、ちょっとの差で掲載が出来ないタイミングです。WFP の発行を 22 日にするか、出題をちょっと早めてもらうか。20 日 1 回発行して 22 日に追加アップするか…。ちょっと検討したいと考えています。

今月、一乗谷酔象氏の特別懸賞「王手が9割」を開催しています。このような個人での懸賞出題は大歓迎ですので、希望する方は私までメールで原稿を送ってください。WEB 上ではスペースに上限はありませんのでいくらでも OK です。

たくぼん

2013 年 第 61 号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十五年七月号

平成二十五年七月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合せ先 takuji@dokidoki.ne.jp